

平塚市教育委員会 令和8年1月定例会

日 時：令和8年1月30日(金)10時30分から

場 所：平塚市役所本館7階720会議室

1 教育長報告

- (1) 令和7年度平塚市中学校体育連盟主催大会の結果等について
- (2) 優良公民館表彰の受賞について
- (3) 令和7年度平塚市市内駅伝競走大会の結果について
- (4) 平塚市立学校教職員の業務量管理・健康確保措置実施計画について
- (5) その他

2 議案第27号 平塚市立小学校及び中学校適正規模等基本方針の策定について

3 議案第28号 平塚市学校施設の個別施設計画の改訂について

4 議案第29号 平塚市立小学校及び中学校の体育施設の開放に関する規則の一部を改正する規則について

5 その他

令和7年度

平塚市中学校体育連盟主催大会の結果等について

# 目 次

1	令和7年度平塚市中学校体育大会について	
(1)	令和7年度平塚市中学校総合体育大会 日程・会場表	1
(2)	令和7年度平塚市中学校総合体育大会 反省	2
(3)	令和7年度平塚市中学校体育大会新人戦 日程・会場表	8
(4)	令和7年度平塚市中学校体育大会新人戦 反省	9
2	令和7年度平塚市中学校総合体育大会各専門部の報告について	
(1)	バスケットボールの部	12
(2)	バレーボールの部	13
(3)	サッカーの部	14
(4)	ソフトボールの部	16
(5)	ソフトテニスの部	17
(6)	卓球の部	18
(7)	軟式野球の部	19
(8)	新体操の部	20
(9)	柔道の部	21
(10)	剣道の部	22
(11)	バドミントンの部	23
(12)	水泳競技の部	24
(13)	陸上競技の部	26
(14)	駅伝競走の部	27
3	令和7年度中学校体育大会参加延人数	28

令和7年度平塚市中学校総合体育大会 日程・会場表

会場	種目	大会日
江陽中学校	ソフトテニス (予備日)	6月28日(土)
	(予備日)	7月12日(土)
太洋中学校	軟式野球	6月28日(土)
	(予備日)	6月29日(日)
	(予備日)	7月5日(土)
春日野中学校	(予備日)	7月12日(土)
	サッカー	6月21日(土)
	(予備日)	6月22日(日)
	(予備日)	6月28日(土)
大野中学校	(予備日)	6月29日(日)
	サッカー	6月21日(土)
	(予備日)	6月22日(日)
神田中学校	(予備日)	6月29日(日)
	ソフトテニス (予備日)	7月5日(土)
金旭中学校	軟式野球	6月21日(土)
	(予備日)	6月22日(日)
神明中学校	軟式野球	6月28日(土)
	(予備日)	6月29日(日)
ひらつか サン・ライフアリーナ	バレーボール	6月21日(土)
	バスケットボール	6月22日(日)
	バスケットボール	6月28日(土)
	バドミントン	6月29日(日)
	バスケットボール	7月5日(土)
	バスケットボール	7月12日(土)
トッケイセキュリティ 平塚総合体育館 (第一体育室)	卓球	6月28日(土)
	バレーボール	6月29日(日)
	卓球	7月5日(土)
	バドミントン	7月12日(土)
(第二体育室)	新体操	6月21日(土)
(第一武道場)	柔道	6月28日(土)
(第二武道場)	剣道	7月12日(土)
(プール)	水泳競技	8月2日(土)
レモンガススタジアム平塚	陸上競技	8月23日(土)
	(予備日)	8月24日(日)
	駅伝競走	10月11日(土)
	(予備日)	10月13日(月)
平塚市立軟式庭球場	ソフトテニス	6月21日(土)
	(予備日)	6月22日(日)
	(予備日)	6月28日(土)
	(予備日)	6月29日(日)
馬入ふれあい公園サッカー場	サッカー	6月28日(土)
	(予備日)	7月5日(土)

## 令和7年度平塚市中学校総合体育大会 反省

### 1 運営面

#### ○各中学校

- ・今年度は、トクイセキリティ平塚総合体育館の武道場を使用したため、空調も効いており、試合のやりやすい環境であった。閉会式が借りていた時間ギリギリになってしまったため、開会式や試合進行の時間を少し繰り上げる必要があると感じた。(剣道)
- ・7月12日(土)トクイセキリティ平塚総合体育館の駐車場が大渋滞であった。会場の分散を検討または事前の周知の機会を増やしたい。
- ・軟式野球会場に関連して、バッティングパレス相石スタジアムひらつかやレノガスタジアム平塚を中体連で使える日数を増やしてほしい。他種目や他団体の兼ね合いもあるが、正式な競技規則にあるサイズの会場で試合ができた方が、様々な面でよい。
- ・冷房の効いた会場はありがたかった。保護者の動線が確立するとよかった。(バスケットボール)
- ・会場使用時間が17時までとなっており、16:30まで大会が長引いたので、片付け等が大変だった。時間にゆとりが欲しかった。(剣道)
- ・トクイセキリティ平塚総合体育館前が他の種目と同様の集合時間で大変混雑していたので、時間をずらすか、区分けをするとよかった。(バドミントン)
- ・応援に来ていた保護者や一般生徒が迷っていたので、校名の表示があるとありがたかった。平塚総合公園の駐車場が保護者の車で混雑していたので、事前にもっと強めにアナウンスしてよいと思った。(バドミントン)

#### ○バスケットボール専門部

- ・全日、ひらつかサン・ライフアリーナで行えたことで、冷房環境が整った施設で大会をすることができて良かった。次年度も継続して行えるとありがたい。

#### ○バレーボール専門部

- ・2日間とも公営施設を使用させていただき、スムーズに運営ができた。また、熱中症になる生徒が1人もいなかった。

#### ○ソフトボール専門部

- ・本年度も中ブロック大会と兼ねての開催だった。会場であった、春日野中学校の校舎改修工事のため、保護者の動線を決めていたが、うまく誘導することができなかった。
- ・クーリングルームを設けることで、重度の熱中症者を出すことなく、安全に運営することができた。

#### ○ソフトテニス専門部

- ・平塚市立軟式庭球場の予約について、調整会議を通して協会から承諾をいただいていたが、直前で会場の調整をしなければならなかった。今回のように、試合時間が長引いて続行試合になるケースも考えられるため、両日ともに土日ととることができるよう、ご配慮いただきたい。
- ・試合自体の運営はスムーズに行うことができた。

#### ○卓球専門部

- ・防犯面より、保護者席と生徒の座席を分けていたが、開会式の放送を聞いておらず入ってきてしまう保護者がいた。掲示の札を立てたことでその後の立ち入りはなかったのですが、来年度も掲示物により指示が浸透するようにしていきたい。
- ・生徒による公共施設の自動販売機の利用について、顧問間でも差異があったので、指導を統一していきたい。

#### ○軟式野球専門部

- ・江陽中と金目中の会場が使えなくなり、金旭中会場を使うことになったが、次のような理由からやはり野球の会場としてはあまり向いていないと感じる。①バックネットが近く、パスボールやワールドピッチによる得点の機会が少ない。②キャッチャー上のネットがあり、キャッチャーフライがファウルの判定になってしまう。③ベンチとバッターボックスの距離が近く、ファウルボールが危険であるなど。

新人戦や講習会の会場として昨年度に予定されていた春日野中や大野中、浜岳中の会場もすべて太洋中、金旭中に変更になってしまい、太洋中と金旭中の2校に負担が集中してしまっている。新人戦の会場としても金旭中を使うことには不安があるので、元に戻せるなら戻したい。

- ・運営上2会場あれば良いのだが、今年度のように3会場確保していただけると、抽選の結果から会場を決めやすいので、来年度も各日程3会場でお願いしたい。
- ・3日目は暑さで、足をつったり、中断をする場面が多かった。できることなら、準決勝と決勝を2日間に分けて運営し、4日間の日程できると、熱中症等の対策になる。
- ・学校会場に保護者が自家用車で来校されることがしばしばあった。役員で声をかけて対応したが、各校で周知を徹底したい。また、原付バイクで来校される方もおり、対応に困った。原付バイクでの来校も認めないのであるなら、それもはっきりと周知したい。

#### ○新体操専門部

- ・トクイセキリティ平塚総合体育館第2体育室の開催で、空調の設備がないため、生徒の体調管理に神経を使った。第2体育室は、構造上の問題なのか、両側に窓があっても、生徒が体を動かす床の近くはあまり空気が動かず、熱気がこもる。風の影響を受けるので、競技中は窓も開けられない。途中休憩や給水の声掛けも多めに行った。気温が予想より高温ではなかったこともあり、無事に終了することができた。
- ・メインの体育館がインターハイ予選でも多く、生徒に昼食をとらせるための涼しい場所の確保もままならなかった。せめて1階ロビーは高校側は遠慮してと施設から事前に調整していただいたが、一般の利用者もあり、安心な場所にはならなかった。
- ・一昨年から継続して、地域クラブからの参加(選手6名)があったが、クラブ側もよく主旨を理解していただき、協力体制を得ることができた。新体操に取り組んでいる生徒が頑張れる場の提供ができてよかったと思う。
- ・報償費なども手厚く補助していただき、ありがとうございました。
- ・公共の会場が競技の数に見合っていない事は十分承知しているが、やはり第2体育室は狭かった。観客席も同じフロア内を区切るしかなく、狭く、手具が飛んでいけば危険でもある。
- ・体育館設備の新体操マットも第2体育室のものはかなり古くなり、壊れている部分もかなりある。繫ぎ目には隙間もあり、選手の足が引っ掛かる可能性もある。可能ならば更新してほしい。

#### ○柔道専門部

- ・学生審判が審判を行ってくれた関係で先生方が生徒の動きに集中して大会を運営することができた。
- ・エアコンが効いた環境で試合ができたことで、熱中症の症状の生徒が出てしまったが、重症化する心配がなく大会が行えた。

#### ○バドミントン専門部

- ・冷房がきいていたおかげで、熱中症の症状が出なかった。
- ・個人戦をトクイセキリティ平塚総合体育館で行うには、コート数も少なく、試合数が多いので時間がかかった。
- ・来年度に向けて、団体戦・個人戦共にひらつかサン・ライフアリーナでの開催を強く希望する。

#### ○陸上競技専門部

- ・熱中症対策用に氷の桶を用意したのが良かった。多くの選手が手や腕を冷やすことで、熱中症予防になっていた。クーリングシェルターも準備したお陰で、レース後に体を冷やすことができた。来年度もお願いしたい。
- ・メタセコイアの駐輪場が端から端までいっぱいになっていた。しかし、自転車同士の間隔が空いているところもあったので、詰めて駐輪することを各校で指導したい。
- ・市総体の申込の不備が目立った。申し込み期日を早めるか来年度は検討したい。
- ・要項にWBGT 31℃以上になった場合の対応について、今回の競技順序だと1日開催だと難しい。当日の時間延長分または翌日の予備日までを競技日として競技場を使用するための会場費を予算化してもらう必要がある。
- ・3000m給水のコップ、もう少し大きいものにした方がよい。
- ・暑い中での大会となったが、重度の体調不良者等が出なくてよかった。
- ・スタート機材のトラブルがあり、競技が30分程度中断、その後競技が遅れてしまった。

#### 【駅伝競走】

- ・雨のため閉会式、表彰式の実施が変わり、雨を防げるエントランスで行った。表彰式は、表彰の対象の生徒のみで行った。
- ・選手の待機場所にテントを多く配置した。

- ・今年度よりコースが新しくなったため、選手がコースに慣れていない様子がみられた。次年度以降、コースの試走会を行い、コースの把握をできるようにしたい。

## 2 怪我・事故（当該校理事、該当専門部長との重複報告あり）

### ○各中学校

- ・バスケットボール専門部（6/28）左肘靭帯損傷、左足首捻挫。
- ・バドミントン専門部（7/12）  
3年女子 試合中に右ふくらはぎがつる。テーピングやストレッチをしたのち、試合へ復帰。
- ・卓球専門部（7/5）  
3年男子 大会会場からの帰宅途中、蜂に刺される。冷却して様子を見たところ腫れが引いたので、保護者に連絡をして引き渡した。
- ・打突を受けた生徒が打撲。アイシングで対応。（剣道）
- ・3年男子アップ中に右太もも裏が痛くなった。アイシングで対応。当日報告済み。（バドミントン）

### ○バスケットボール専門部

- ・3年女子  
試合中倒れた際に左肘を負傷し、救急搬送。レントゲン上では骨折は認められず、痛みがひどい場合は、別の整形外科へ受診。
- ・3年男子  
試合中に肩を打撲。冷却した。保護者引率のもと病院に受診。
- ・3年男子  
元々怪我をしているところを捻ってしまい、アイシングをして試合後、保護者と一緒に帰宅した。
- ・3年女子  
試合中に左肘靭帯損傷、左足首捻挫。その後冷却をした。骨には異常なし。

### ○バレーボール専門部

- ・顧問1名、体調不良（脇腹、腰あたりの痛みのため）で緊急搬送。

### ○サッカー専門部

- ・3年男子  
試合中、体調不良。ベンチに戻り休んだところ、体調も良くなったので、試合後はチームメイトと一緒に帰宅した。
- ・顧問1名  
主審中、左足ふくらはぎ下が少し肉離れのような感覚があり、途中交代。負傷箇所はテーピングを巻いて、冷却対応。
- ・2年男子  
試合中に体調を崩したが、冷房の効いた部屋でしばらく休み、良くなった。保護者が応援に来ていたので、その場で状態を伝えた。
- ・1年男子  
応援中に体調を崩したが、冷房の効いた部屋で休み、回復した。

### ○ソフトボール専門部

- ・2年女子  
熱中症の症状を訴え、保護者に引き渡して、自宅で経過観察となった。
- ・3年女子  
試合中に足を攣った。応急処置をし、保護者に引き渡し、病院を受診し、軽い肉離れという診断であった。

### ○ソフトテニス専門部

- ・2年女子  
試合中に鼻血。休息をとり鼻血が止まり、再試合。試合終了後、本部にて休息。頭痛少しあり。意識ははっきりしている。保護者が迎えに来て家庭で経過観察。
- ・1年女子  
木のそばに座り、振り返った際、木にぶつかり右側頭部痛める。冷却対応。少し擦り傷あり、経過観察。その後、応援に戻る。

- ・ 1年女子  
頭痛。吐き気特になし。意識やりとりははっきりしている。経口補水液と冷却で本部待機。保護者が迎えに来て経過観察。
- ・ 3年女子  
めまい、軽い気持ち悪さ、少し頭痛あり。少しぼーっとする感じがする。やりとりははっきりしている。経口補水液を少し飲むのがしんどい。保護者が迎えに来て経過観察。
- ・ 1年女子  
頭が痛い気がする。本人大丈夫と言う。保護者に連れて帰ってもらい経過観察。
- ・ 3年男子  
軽い頭痛を訴え、応急手当後、頭痛が和らいだ。意識やりとりははっきりしている。経口補水液を飲ませる。帰宅は友達の保護者に自宅まで連れて帰ってもらった。
- ・ 1年女子  
頭痛あり、意識しっかりしている。本部で経口補水液を飲ませ、冷やし対応。その後、回復し保護者に迎えに来てもらい帰宅。
- ・ 3年女子  
鼻血。本部で冷やし、止血し回復した。その後、安定していたので、帰宅させた。
- ・ 3年男子  
右ふくらはぎをつり、経口補水液を飲ませ、本部で経過観察。意識ははっきりしている。表彰式に参加し、保護者と帰宅した。
- ・ 3年男子  
頭痛。本部で冷やし、経口補水液を飲ませ、本部で経過観察。意識ははっきりしている。表彰式に参加し、保護者と帰宅した。
- ・ 3年男子  
頭痛。本部で冷やし、経口補水液を飲ませ、本部で経過観察。意識ははっきりしている。その後、応援に戻った。保護者と帰宅した。
- ・ 3年男子  
鼻血。止血後に試合に参加した。保護者と帰宅した。

#### ○卓球専門部

- ・ 3年男子  
帰り際に蜂に刺された。無事、保護者に引き渡しをし、症状も和らいだ。通院はせず。

#### ○軟式野球専門部

- ・ 試合中のファウルボールが顧問の首に当たり負傷。翌週、病院を受診。
- ・ 3年男子  
試合中、脚がつり一時中断したが、経口補水液を飲んで試合復帰した。それ以外は特になし。
- ・ 2年男子  
ランナーで走った後、ベンチで座り込み、そのまま交代。冷房の効いた部屋で経口補水液を飲んで様子見。その後チームに復帰した。
- ・ 3年男子  
ランナーに脚を踏まれ、左足の人差し指の爪が内出血。親指の付け根が赤くなっていた。冷やした後、交代せず、そのまま試合再開、最後まで出場。家庭で様子を見てもらうことになった。
- ・ 3年男子  
フライを追いかけ、ショートと接触し倒れた。頭をうった様子はなく、一時中断したが、問題なしで試合再開。
- ・ 1年女子  
ベンチ外で試合観戦をしているところ、頭痛を訴えたので、冷房の効いた部屋で休ませたところ、落ち着いた。保護者に迎えに来てもらい、家庭で様子見。
- ・ 3年男子  
試合中足をつって一時中断。経口補水液を飲んでそのまま再開したが、もう一度つったため、交代し冷房が効いた部屋で休んだ。その後チームに復帰。足がつったり、熱中症に近い症状はあったものの問題なし。

○柔道専門部

・ 3年男子

昼食休憩の時間にめまいと耳鳴り、体がつる症状が出る。脱水が原因とみられ、経口補水液を飲ませ、体を冷やす対応をした。その後、回復したので、最後まで試合を見て帰宅した。

○剣道専門部

・ 2年女子

試合中、左親指を打たれ、内出血。冷却とテーピングをして様子見。午後の試合は出場した。

・ 1年男子

試合中、中指と薬指を打たれ、痛みが強いということで、冷却をして様子を見た。その後、出場した。

○バドミントン専門部

・ 3年男子

朝の練習中に右太もも裏を負傷。アイシング処置の後、試合に戻った。

・ 3年女子

試合中に右足首を負傷。アイシング等の処置の後、湿布をはり包帯を巻いて様子を見た。

・ 3年女子

試合中に右ふくらはぎが攣り、10分間様子を見た。テーピングの処置をした後、試合に戻った。

・ 3年女子

試合中に右足首をひねって転倒。テーピング処置を施した後に試合復帰。その後特に問題なし。

○陸上競技専門部

・ 3年女子

ハードル後、右太腿裏の痛み。軽い肉離れの可能性あり。テーピングなどの固定はせず。アイシングで対応。

・ 3年女子

軽度熱中症。頭痛。氷嚢で体冷やし、1時間ほど休憩後、自席に戻る。

・ 3年男子

練習中に両脚前大腿を痛める。アイシングで対応。その後顧問が保護者に連絡。保護者迎えに来て帰宅。

・ 1年女子

応援の女子生徒2名。軽度熱中症。頭痛。氷嚢で体冷やし休憩。30分ほど休憩。両者とも顧問が保護者に連絡し、保護者と共に帰宅。

・ 3年男子

1500m走終了後、右太腿裏の痛み。持参の漢方を服薬後、アイシングで対応。

・ 3年男子

軽度熱中症。頭痛。氷嚢で対応。その後座席に戻る。

【駅伝競走】

・ 3年女子

1区走行中体調を崩し、走行継続が難しいと判断したため、緊急搬送した。病院では点滴、コロナ・インフルエンザの検査を行い、どちらも陰性。その後、回復した。

3 その他

○各中学校

・七夕期間の日曜日は、開催しない。その前日の土曜日の江陽中会場も使用しない。この2点は継続していきたい。

○ソフトテニス専門部

・保護者が平塚市立軟式庭球場会場の本部の前で駐車しており、本部から声をかけた。周知徹底が必要である。

○卓球専門部

・熱中症の観点から来年度以降も空調設備の整った公共の体育館の利用をお願いしたい。

○軟式野球専門部

- ・学校会場のときに、ベンチの境界線がはっきりしておらず、どこまでがベンチになるのか分かりづらかった。ベンチ入りの人数が生徒も大人も制限がある中で、ベンチ内の人間なのか、応援の人間なのかの区別がつかないのは平等性においても問題である。また、ベンチ外の大人が選手に声をかけてしまう場面があり、それを無しとするなら徹底すべきであった。

○新体操専門部

- ・地域クラブの参加が3年目となった。やりとりする書類も整理されていて、取り組みやすかった。新体操は地域クラブの指導者とも交流が長年継続しているため、特に問題は感じていない。今まで交流がない新規団体が参入してきても、ここまでの経験を生かして運営できるように感じた。しかし、地域クラブの捉え方が競技や地区によって差があるように感じ、県レベルで統一して欲しいが、地区による温度差や解釈の差が依然としてあるように感じている。何でもありになるのはどうなのかと思う。また学校がなくなった場合(専門部がなくなった場合)の、平塚市大会、中ブロック大会、そして県大会をどう整理していくのか明確にしてほしい。

○柔道専門部

- ・柔道の審判規定が目まぐるしく変わる中、東海大学柔道部の学生でさえ、中学生の少年規定については、事前の講習が必要である。

○バドミントン専門部

- ・シャトルの消費が多く、今回は予算の都合でグレードを下げて試合を行いました。中ブロック、県大会へとつながる試合にも関わらず、予算の都合で試合球が使えないのはとても残念である。1年間で1本(12球)あたり500円の値上がり、今年は8月から段階的に1本1000円ぐらい値上がりする。秋の新人戦もこのままで円滑な試合運営ができるか不安。改めて、予算の見直しをお願いしたい。

○陸上競技専門部

- ・盗撮案件が1件あった。被害にあった生徒は、警察に行き被害届を提出した。

【駅伝競走】

- ・伊勢原市の顧問の先生方との連携により、駅伝競走として運営ができた。

令和7年度平塚市中学校体育大会新人戦 日程・会場表

会 場	種 目	大会日
江陽中学校	ソフトテニス	10月11日(土)
	(予備日)	10月12日(日)
太洋中学校	軟式野球 (予備日)	10月12日(日)
春日野中学校	サッカー	10月11日(土)
	(予備日)	10月12日(日)
大野中学校	サッカー	10月11日(土)
	(予備日)	10月12日(日)
神田中学校	ソフトテニス (予備日)	10月11日(土)
	(予備日)	10月12日(日)
中原中学校	剣道	10月11日(土)
大住中学校	軟式野球	10月11日(土)
	(予備日)	10月12日(日)
山城中学校	ソフトボール	10月11日(土)
	(予備日)	10月12日(日)
金目中学校	サッカー	10月11日(土)
	(予備日)	10月12日(日)
横内中学校	サッカー	10月11日(土)
	(予備日)	10月12日(日)
バッティングパレス相石スタジアム ひらつか	軟式野球	10月11日(土)
ひらつか サン・ライフアリーナ	バレーボール	10月 4日(土)
	バスケットボール	10月11日(土)
	バドミントン	10月12日(日)
トッケイセキュリティ平塚総合体育館 (第一体育室)	卓球	10月11日(土)
(第二体育室)	新体操	10月11日(土)
(武道場)	柔道	10月11日(土)
(温水プール)	水泳競技	8月30日(土)
レモンガススタジアム平塚	陸上競技	10月26日(日)
	(予備日)	11月 2日(日)
平塚市立軟式庭球場	ソフトテニス (予備日)	10月12日(日)

## 令和7年度平塚市中学校体育大会新人戦 反省

### 1 運営面

#### ○バレーボール専門部

- ・審判にあたっているチームの顧問が帰ってしまい、試合を開始できずに大幅に進行が遅れてしまった。
- ・順位決定戦が予選と同じ組み合わせとなり再戦を行った。今後は同カードについては割愛する方向で検討していく。

#### ○サッカー専門部

- ・4会場での試合は、会場ごとの大人の数が少ないので、必然的に負担も増えている。来年度は半日日程から1日日程へ変更を行い、長時間の運営にはなるが、半日日程とどちらが望ましいか、比較したい。

#### ○ソフトテニス専門部

- ・男子の試合について、リーグ戦で順位を決めた後の3位での決勝トーナメントへの進出はなしにする。あるいは、全校が決勝トーナメントに進出できるのであればリーグ戦を行わず、トーナメントのみ行う。組み合わせは専門部会によるくじ引きでよい。ソフトテニスの運営は大会数や研修会、講習会が多く、また拘束時間が長い。仕事負担軽減、働き方改革等の観点でも縮小することが必要であると感じる。
- ・中断の可能性がある大会の決行は極力しない。1日目の途中中断の専門部の判断は的確であったと思う。しかし従事内容を考えると、朝7時20分に集合し、1ゲームのみで、職員の従事時間は約3時間と内容に対して長い。天気予報を見ると、予備日である日曜日は雨にはならない予定であった。中断、続行試合になれば、休日も減る。天候判断は難しいが、始めから予備日に延期の判断をしておけば、選手や保護者、職員の負担も少なく済んだ。

#### ○卓球専門部

- ・当日の棄権者が多く、試合進行の調整に時間がかかってしまった。特に各校の女子部員が減少しており、大会のもち方も検討していかなくてはならないと感じた。取り決めに明確にし、スムーズな進行を目指したい。

#### ○軟式野球専門部

- ・前日から雨天の予報があり、判断に迷った。バッティングパレス相石スタジアムひらつかが予備会場ではとれないため、あまり予備日には回したくなかった。当日の朝の判断で実施にいたったが、リーグ戦を1日で実施するために、中途半端に予備日に回してしまうとチーム間で1日の試合数に差が出てしまい、有利不利が生じる。全試合実施か、全試合延期かの判断が難しいところである。それでも試合継続不可能となった場合には、予備日に回すしかないが、それによって生じる有利不利については抽選の段階で確認しておきたい。一部を予備日に回すことになった場合、審判員にも2日間来ていただく必要があるため、審判謝礼の予算は余裕を持っておきたい。予備日には来られない審判員もいたために、延期したくなかった。また、新人戦に限ったことではないが、審判員の謝礼が1日1500円なのは、お願いするにあたって、苦しくなっている。高校野球では1試合4000円をお願いしているらしいので、せめて1日4000円の謝礼で予算を組めないだろうか。

#### ○新体操専門部

- ・関係者の皆さまの協力を得ながら、問題なく運営することができた。

#### ○柔道専門部

- ・新人戦については審判員を平塚柔道協会の方に依頼して大会を行った。目まぐるしく変わるルール改正に対応しきれていない部分はあったが、その都度アドバイスし、大会を運営することができた。地域クラブチームの参加が可能になった事から、大会参加者の人数が多少ではあるが増えた。

#### ○剣道専門部

- ・男女ともに部員数の減少によって、昨年度と同様に個人戦での開催とした。
- ・剣道部員全員が参加できるように、工夫して行うことができた。顧問の先生方にも協力していただき、支障なく進行することができた。

- ・平塚市剣道連盟から審判員を派遣していただいたことで、審判員数に余裕ができたとともに、指導面も充実した。来年度も継続していきたい。

#### ○バドミントン専門部

- ・体調不良者も発生せず、比較的涼しい中、予定通り試合の進行を行うことができた。ただ、昼前に少し気温が上がったので冷房を3時間入れた。一方、審判のジャッジが曖昧だったり、イン・アウトの判断が甘くなったりする場面が多く見られたので、各校で審判の練習、ジャッジペーパーの書き方など、事前に練習していただくことを呼び掛けていきたい。また、支柱やネットを正しい場所へ返すことができず、ひらつかサン・ライフアリーナの用具担当の方の手を煩わせてしまったり、借りたものを返し忘れていたりすることがあった。同じことを起こさないように、片付け時は正しい場所に返す、借りたものはしっかり返すことを意識して運営をしていきたい。

#### ○陸上競技専門部

- ・延期になったため、審判員が不足してしまう部署もあった。

#### ○水泳競技専門部

- ・秦野市・厚木愛甲地区の新人戦、中ブロック新人交流会と合同開催であったので、大会運営もスムーズにでき、多くの生徒が参加し、盛り上がってよかった。

### 2 怪我・事故（当該校理事、該当専門部長との重複報告あり）

#### ○サッカー専門部

- ・2年男子

試合中、無理な姿勢でボールにチャレンジした際、相手選手との接触もあり、転倒した。その際、左手首を負傷し、脱臼、もしくは骨折の疑いが見られたため、すぐに救急車を呼んだ。搬送し診察した結果、脱臼と骨折の症状が見られ、緊急手術・入院となった。保護者と管理職に報告済み。

#### ○ソフトテニス専門部

- ・1年女子

タープテントを折りたたむときに指を挟んでしまった。絆創膏で対応した。

#### ○陸上競技専門部

- ・2年女子

ハードルで転倒。擦り傷。止血処置。

- ・2年男子

走り幅跳びで右太腿をスパイクピンで切る。傷は浅く、止血処置。その後競技に戻る。

### 3 その他

#### ○各中学校

- ・大会参加に向けての注意事項の徹底ができていない場面が見られたので再度校内で周知したい。
- ・クラブチームが1位となって表彰を受けたが、クラブチームを除いての順位で表彰すべきだと思う。中ブロックへの順位は結果通りでよいと思うが。
- ・サッカー会場校で、フェンスの外（校地外の通路）から観戦している保護者がおり、専門部の先生、担当校長からも声をかけて移動していただいた。
- ・会場校のため、校舎外のトイレを開放しました。土足厳禁のためスリッパを用意していますが、週明け確認したところ、泥やスパイクの跡等、土足で使用した痕跡があり、かなり汚れていました。また、スパイクを履いたままスリッパを履いたような痕跡もあり、スリッパも泥で汚れていました。

#### ○バスケットボール専門部

- ・より強いチームを決勝に進出させたり、実力に応じた順位づけをしたりするためにも、次年度以降も柔軟な対応ができるよう調整してほしい。ひらつかサン・ライフアリーナを使用しないと、男女顧問や審判の割り振り等、大変苦慮される。次年度も、ひらつかサン・ライフアリーナの利用を切にお願いしたい。

#### ○卓球専門部

- ・公共の体育館で行うことができ、ありがたかった。今後ともお願いしたい。

○柔道専門部

- ・地域移行を進めてはいるが、部活動が完全に無くなってしまった場合、大会を運営する人がいなくなってしまう。平塚市では大野中と金目中の2校しかないことから、これ以上部活動がなくならないようにしていかないと大会の運営ができなくなってしまう事をととても感じた。

○バドミントン専門部

- ・バドミントンは個人競技のため、個人戦で多くのコートを使用する。そのため、来年度以降も、コート数を多く取ることのできる「ひらつかサン・ライフアリーナ」を希望します。

○水泳競技専門部

- ・先生方が協力してくれたので、とてもスムーズに運営できた。多くの生徒も指示に従い、行動できていた。

## バスケットボールの部

1 期 日 令和7年6月22日(日)、28日(土)、7月5日(土)、12日(土)

2 会 場 6月22日(日) ひらつかサン・ライフアリーナ(2面)  
6月28日(土) ひらつかサン・ライフアリーナ(2面)  
7月5日(土) ひらつかサン・ライフアリーナ(2面)  
7月12日(土) ひらつかサン・ライフアリーナ(2面)

3 参加チーム 男子 13チーム 女子 12チーム

### 4 反省および感想

男子の上位チームは実力が拮抗していたが、中原中が優勝した。シード決定戦や代表決定戦でも緊迫した試合が多く続くなど、各チーム練習の成果が表れていた素晴らしい試合が見られた。

女子も、上位チームの実力が拮抗していたが金旭中が優勝した。男女ともに中ブロック出場チームの上位大会における活躍が大いに期待される。引き続き強化・育成に努めていきたい。

### 5 運営面

審判員の不足という慢性的な課題に加え、現行の中学生ルールでは、MC(マンツーマンコミッショナー)の配置が必要なため、顧問の先生方への負担が大きくなっている。

今後も日程や運営を考え、よりよい方法を模索していきたい。

各中学校会場では、事前に保護者の車乗り入れ不可と連絡し対応しているが、引き続きアナウンスを強化していく。

県総体中ブロック開催を見据えた取り組みを次年度から本格的に行っていくことが重要になってくる。

### 6 競技面

冷房が効く体育館で行えたため、大きな対策等無く通常のかたちで試合を行うことができた。次年度以降もこのように進められるとありがたい。

### 7 参加生徒

態度に関しては、互いにリスペクトし、高め合おうというスポーツマンシップを感じる事ができた。

### 8 来年度への要望

近年の猛暑での学校会場における大会運営は、熱中症等の心配がぬぐえない。冷房の使用できる公共体育館での大会開催を引き続き、お願いしたい。また、男女同一顧問も多く、可能ならば4日間ともできるだけ大きい冷房の効く体育館で行いたい。

## バレーボールの部

- 1 期 日 令和7年6月21日（土）、6月29日（日）
- 2 会 場 6月21日（土）：ひらつかサン・ライフアリーナ  
6月29日（日）：トッケイセキュリティ平塚総合体育館
- 3 参加チーム 男子 3チーム（土沢・太洋中 合同チーム）  
女子 12チーム（クラブチーム HAMATAKE を含む）

### 4 反省・感想

男子は合同チームを加えて、女子はクラブチーム（HAMATAKE）を加えての開催となった。男女一緒に公営施設を利用して実施することができ、先生方の協力もあって、大きな怪我や熱中症等なく終えることができた。男子は、部員数の少ない中でも力をつけてきたチームが多い印象である。女子では、江陽中が頭一つ抜けている状態であり、1セットも落とすことなく優勝を決めた。クラブチームとして参加した HAMATAKE が準優勝した。上位の実力をもつ学校を追いかけるように、今後も専門部で協力しながら全体の技術力の向上を目指していきたい。

### 5 運営面

今年度は、男子は3校リーグ、女子は3ブロックでのトーナメント行った後、順位別でリーグ戦を行った。

公営体育館では、冷房を使用させていただくとともに、給水のためのタイムアウトをはさむなど熱中症対策を行い、特に熱中症はなかった。

審判関係では、両日とも東海大学から2名の派遣審判が来てくれた関係で、スムーズな試合進行を行うことができた。今後も派遣審判の要請をお願いしたい。また、各校顧問の審判技術も今後の講習会を通して高めていきたい。

### 6 競技面

ここ数年増加傾向にあった競技人口がやや止まりつつあるが、競技経験をもった顧問も増えてきたことで、技術面は少しずつではあるが底上げされてきている。

女子の部で中ブロック大会優勝、県大会ベスト8の江陽中を筆頭に、今後も平塚市全体で技術力の向上に取り組みたい。

また、生徒のマナーや審判技術の向上も含め、市内のチームの生徒や顧問同士が交流を深めながら技術を学び高め合う機会を多く持つことが必要だと思う。

### 7 参加生徒の態度（応援生徒・保護者含む）

どの選手もよく集中して試合に臨んでいた。毎年の指導及び各校での使用上の注意の徹底がされてきているため、大きな指導が発生することはなかった。来場していただいた保護者の方もルールを遵守されていた。

### 8 来年度への要望

来年度の女子開催日を6月20日（土） or 21日（日）のどちらか片日と、6月27日（土） or 28日（日）での開催をお願いしたい。今年度に続き、両日とも空調が使用でき、熱中症のリスクが少ない、公営体育館の使用をぜひともお願いしたい。ひらつかサン・ライフアリーナであれば男女同会場での実施が可能のため、市総体の1日目にはひらつかサン・ライフアリーナを使用できるとありがたい。また、東海大学やバレーボール協会等からの派遣審判も引き続きお願いし、可能であれば報償費を現状の20,000円から4,000円×2人×3日（新人戦を含めて）＝24,000円に引き上げもお願いしたい。

## サッカーの部

- 1 期日・会場 令和7年6月21日（土）：大野中学校・春日野中学校  
6月28日（土）：馬入ふれあい公園（人工芝）・春日野中学校  
7月 5日（土）：馬入ふれあい公園（人工芝・天然芝）

- 2 参加チーム 12チーム

### 3 感想

今年度も昨年度同様の運営を行った。試合に関しても、敗者復活戦を取り入れて行った。例年、暑さが厳しくなっていく状況での試合になっており、試合中にクーリングブレイクと飲水タイム、両方を活用し、時間を適宜入れることで、選手の体調面を考慮して行っていくことを運営者全員で確認のもと、大会を進行することができた。

会場は、正規のピッチサイズで試合が行える、大野中学校・春日野中学校・馬入ふれあい公園（人工芝・天然芝）を使う事ができた。これまでの練習の成果をしっかりと試合で発揮している選手の姿が印象的であった。

### 4 運営面

今年度も、大会2日目、3日目と馬入ふれあい公園サッカー場を使用させていただいた。今年度は順調に運営できたが、来年度以降、雨天延期や開始時間を遅らせて実施することも考えられるので、改めて専門部で共有をはかり、来年度以降につなげていく。2日目と3日目は暑さ対策をしっかりと考慮して運営を行った。

審判は、協会からの派遣もあったが顧問の負担もあった。各校顧問の協力もあり、スムーズに運営ができたことに感謝したい。運営で準備・片付けなど会場校顧問の負担が大きくなっている。専門部として、会場を馬入に変更するなど、負担を少しでも減らせるよう取り組んでいく。また、運営・審判に積極的に参加していただけるよう、引き続き顧問へ呼びかける必要がある。

### 5 競技面

各校、日頃の活動が制限された中、各校の顧問・選手はそれぞれ工夫をしながら練習に励んできた。選手たちは自分たちがやってきたこと、その力を十分に発揮した。

中ブロック大会へは平塚から8つの代表校が参加した。

### 6 参加生徒の態度

大会中、暑い日が続く中で、選手はこまめに水分補給を取るなど、熱中症対策をしっかりとり全力でプレーをすることができた。ケガや熱中症は少しあったが、各会場の顧問間での協力もあり、迅速な対応をすることができた。今年度も応援生徒も参加可能であった。

### 7 来年度の要望

今年度まで、初日は学校会場、2日目も1つの会場は学校会場で行ってきたが、やはり会場校の会場準備、片付け等の負担は大きいと感じる。よって、初日の2つの会場、2日目の学校会場で行ってきた試合も、馬入ふれあい公園会場（人工芝・天然芝）を利用し行いたい。会場費の確保として、学校会場への石灰代を会場費に回せば、費用としても大きな変更はないと思われる。

また、要望しても、今年度のように通らず、やむなく学校会場となることも考えられる。今年度は、会場校となる春日野中学校が大会期間中に工事を行っており、顧問が近くの小学校に駐車するなど運営面以外でも負担を強いた。大会前に工事関係者に連絡しても、工事関係者からの返事がなく、会場校が会場図をつくるのが遅くなり、会場校に駐車スペースがないことや駐輪場など、顧問や選手への連絡も1・2日前となった。また、駐車スペース確保のために小学校と交渉することにもなり、その際、ご理解いただくことも難しかった。もし来年度以降も学校会場となる場合は、工事の有無や、工事による影響、工事関係者とスムーズな連絡が取れるのか等、様々な部分を確認していただき、今年度のような負

担はなくして頂きたい。

大会の実施日を増やしていただきたい。現状の日数では、敗者復活戦を行うため、どうしても1日に2試合行わなければならない日を設定しなくてはならない。熱中症や脱水症状、ケガのリスクの観点からも、1日2試合は行いたくない。敗者復活戦をなくせば可能だが、たった1回のチャンスとなり、6月20日前後での引退は早すぎるように感じる。伸びるのはたった1週かもしれないが、2回目のチャンスがあるとないとは差が大きい。以上の点から、大会実施日増を希望する。

他の点は引き続き、東海大学への審判依頼と正規ピッチサイズ（105×68m）で試合ができる学校会場（予備会場として）、馬入ふれあい公園サッカー場（人工芝・天然芝）の確保をお願いしたい。

## ソフトボールの部

1 期 日 令和7年7月19日(土)

2 会 場 平塚市立春日野中学校

3 参加チーム 4校3チーム 大野・春日野合同チーム、神明、山城

### 4 反省、感想

合同チームを含めた3チームでの開催となり、1面だけのリーグ戦方式で、午後にまたがる形で1日開催となりました。また、中ブロック大会と兼ねて実施したことで、運営の負担を軽減することができました。

### 5 運営面

生徒と保護者のエリアをしっかりと分けることで、トラブル等なく運営することができました。

### 6 競技面

トラブル等なく運営することができました。

### 7 参加生徒の態度(応援生徒、含む保護者)

どのチームもマナーよく大会に参加していました。応援保護者も観戦場所を守るなど、大会運営に協力的でした。

### 8 来年度への要望

ソフトボール部に所属する生徒数が減少している中で、会場校には少ない人数で準備をしていただきました。来年度も、ソフトボール専門部で行われる事業において、一部の学校の負担が大きくなることのないように、大会実施日と予備日として割り当てられる会場の日数に関しまして、各校できる限り均等になるようにお手配をお願いいたします。

## ソフトテニスの部

- 1 期 日 6月21日(土)、6月22日(日)、6月28日(土)  
予備日 6月29日(日)、7月5日(土)、7月6日(日)、7月12日(土)
2. 会 場 平塚市軟式庭球場、江陽中学校、神田中学校
3. 参加チーム 団体戦 男子7校 女子12校  
個人戦 男子64ペア 女子96ペア

### 4 反省・感想

大会運営に各校顧問が協力し、大きな問題がなく終了することができた。例年、暑さが厳しくなる中で、ヒートルールの積極的適用などで対策し、緊急搬送はなかった。

### 5 運営面

6月21日に個人戦が行えたが、熱中症対策等の休憩時間やタイムなどにより、試合時間が伸びた。その結果、個人戦が21日で終了せず、22日の午前中に終了となった。今回は公営コートで試合ができたため、準備と片付けがすぐにできた。

6月28日も天候に恵まれ、平塚市軟式庭球場で男女団体戦を行うことができた。3日間ともに軽い熱中症の症状の手当はあったものの、緊急搬送はなく、無事に終了することができた。

### 6 競技面

市総体で活躍した選手の中には、中ブロック総体でも結果を残し、県大会へと出場した。今後も平塚市全体で技術の向上に努めたい。

### 7 参加生徒の態度

大きなトラブルはなく、参加態度は良好であった。

### 8 来年度の希望

予備日を平塚市軟式庭球場で1日日程として利用できるようお願いしたく、また、予備日の使用可否については土曜日当日の夕方(天候不良は朝)に判断させていただくことも切実に希望する。今年度では、休憩時間やタイムによる大会の長時間化が起り、予備日に続行試合を行わなければならなかった。また、学校会場となった場合、事前準備があってもグラウンドにコートを立てるのに少なくとも2時間はかかるため、会場校や顧問、生徒の負担が大きく、公営コートで行えることが熱中症等の予防につながっている。このような観点から、予備日も1日日程として公営コートを確保できるよう、引き続きお願いしたい。

また、前日の降雨でも大会が実施できるよう、予備日の会場として、日程最終日に江陽中学校や、神田中学校、金目中学校など、コートの設営がしやすい学校を会場として使用をお願いしたい。

## 卓球の部

1 期 日 令和7年6月28日（土）団体戦、7月5日（土）個人戦

2 会 場 トッケイセキリュティ平塚総合体育館

3 参加校 江陽、大野、神田、金旭、山城、神明、金目、旭陵、平塚中等

### 4 反省・感想

選手、顧問、大会役員が協力して、運営することができた。

多くの保護者に来場していただき、選手も日頃の練習の成果を発揮していた。

### 5 運営面

個人戦は、1年生が初めて出場する試合であるため、例年試合進行に混乱が生じてしまう。1年生でも理解しやすいように、進行方法を工夫する必要がある。また、公共施設の自動販売機の利用の仕方について周知徹底を行っていききたい。

### 6 競技面

顧問によるゲーム間のアドバイス時で規定されている時間を守れていないチームが度々見られた。競技の進行にも関わってくるため、各校顧問への注意を行う必要がある。

### 7 参加生徒の態度（応援生徒・保護者含む）

概ね良好であった。また、公共施設の自動販売機の利用の仕方について周知徹底を行っていききたい。

### 8 来年度への要望

今後とも、公共の体育館で競技を行いたい。

## 軟式野球の部

1 期 日 令和7年6月21日(土) 6月28日(土)、7月5日(土)

2 会 場 金旭中学校、神明中学校、太洋中学校

3 参加チーム 江陽中学校、太洋中学校、中原中学校、神明中学校、浜岳中学校、山城中学校  
春日野中学校、大野中学校、旭陵中学校、金目中学校、金旭中学校、土沢中学校  
※神明中、旭陵中、土沢中は合同チーム

### 4 反省、感想

今年度も気温が高く、熱中症が心配されるなかでの運営となった。年々気温が上昇していくなかで、この時期に大会運営をしていくのは、非常に心配である。軟式野球専門部に限った話ではないが、外部活も中部活も、年間を通して事業の見直しをしていく必要があるのかもしれないと感じた。

### 5 運営面

江陽中と金目中など、学校会場の使用が制限され、一部の学校に負担が集中してしまっている。来年度も広い学校会場か平塚球場が使えるようにしていただきたい。

夏の会場は、運営上2会場あれば良いのだが、今年度のように3会場確保していただけると、抽選の結果から会場を決めやすいので、来年度も各日程3会場でお願いしたい。

市総体は暑さで、足をつったり、中断をする場面が多かった。できることなら、準決勝と決勝を2日間に分けて運営し、4日間の日程でできると、熱中症等の対策になる。

現在、審判さんの謝礼を1日1500円で、予算を組んでいるが、お願いするにあたって、苦しくなっている。予算の見直しを行い、謝礼の金額を上げたい。

### 6 競技面

バットやボールの性能向上もあるが、打者が外野を超える打球を打つことが多くなってきた。学校会場では、規定エリア外にボールが出てしまうとボールデッドや継続球の扱いとなり、学校ごとに複雑な会場ルールができてしまう。そのため、大人で対応しきれず線審に生徒を配置し、熱中症のリスクが高まる。また、熱中症対策としてもクーラーの効いた控室のある球場での実施が1試合でも多く設定してあげられたらよいと思う。

### 7 参加生徒

問題行動等なく、参加選手は一生懸命に活動していた。

### 8 来年度への要望

「6 競技面」でも挙げた理由による、球場使用日程の増加をお願いしたい。

審判さんの謝礼について、高校野球では1試合4000円をお願いしているらしいので、せめて1日4000円の謝礼で予算を組めないだろうか。

## 新体操の部

1 期 日 令和7年6月21日（土）生徒役員集合8:30 競技開始10:30～

2 会 場 トッケイセキュリティ平塚総合体育館 第2体育室

3 参加チーム 団体競技の部 2チーム  
個人競技の部 種目別<フープ>16人 <ボール>17人

### 4 反省、感想

本年度も地域クラブの参加が1団体あった。また設置地域の関係から地域クラブからは出場できない選手も学校が認めて下さって引率していただき、全体の参加人数は多くないものの、充実した大会になった。新体操に取り組んでいる中学生の活動の場が広がり、良かったと思う。地域クラブ及び体操協会の関係者には、運営にも協力していただき、ありがたかった。観戦応援は昨年同様制限をしなかったが、会場の関係で、練習している生徒のすぐそばからの応援となり、事故やケガが起きないか心配したが、大きなトラブルはなかった。選手は互いに声援を送りあい応援の声にも励まされ、一生懸命に取り組んでいた。公共の設備ではあっても空調のない会場で、熱中症に関しても、こまめな声掛けをはじめ十分に配慮はしたが、気温も高く様々な面で心配はあった。無事に終了でき良かった。

### 5 運営面

地域クラブの関係者、また平塚市体操協会からは、審判員の派遣に協力していただくとともに役員補助としての人員も配慮していただいた。常設部活動が1校しかない小さい専門部なため、運営そのものに力を貸してくださり、助かっている。多くの皆様のご協力によりスムーズに運営することができた。また競技も専門性があるため、必要物品も特殊な面があるが、中体連本部で対応していただき本当にありがたかった。競技の特性から、窓を開放したままにはできず、換気や気温の面で心配したが、こまめに休憩を取りながら、対応することができた。

### 6 競技面

変わったルールも定着してきていて、選手達も、求められている方向性に沿った自分なりの演技を披露していた。選手は、きまりを守って限られた練習場所を譲り合って使用し、他選手との接触や手具の衝突を避けるべく、配慮しつつ行動することができていた。また、他の選手の演技前には大きな声で声援を送りあい、良いものに拍手を送り、大会の雰囲気盛り上げようと努力していた。完成度が高くない演技やミスもあったが、日々真剣に練習に取り組んできた成果を発揮するため、よく努力していた。選手それぞれ、次の大会にむけての課題も見えてきていたように感じた。

第2体育室の幅が、競技マットの幅に対して今一つ足りず、場外に出た手具が、壁に当たって戻ってきてしまう心配もあったが、そのような事態は起きなくて良かった。さらに天井の形状が変わっているため、高い投げを行えない場面もあり、広い会場で演技させたいと感じた。

### 7 参加生徒の態度

声掛けをしなくても、意識して水分摂取をこまめに行うなど、健康面や安全面についても自覚を持って行動することができていた。手具や用具、マットについても細心の注意を払って動いていた。競技面以外で練習できる場所が限られ、大変に狭い場所ではあったが、周囲に配慮しながらもそれぞれが熱心に練習に取り組み、良い緊張感のある雰囲気を作っていた。部活動の生徒もクラブの生徒も、それぞれの所属でよくまとまり、規律を持って協力しながら主体的によく動いていた。声援を送り合う姿も見られた。また、参加者全員で、準備から片付けまで協力してできた。自分自身の演技に真剣に取り組むことはもちろん、他の選手の演技にも大きな拍手を送り、マナー良く過ごすことができていた。

### 8 来年度への要望

来年度は正しい規格の専用のマットが利用でき、天井の高い、空調施設のある公共の体育館会場をお願いしたい。また、審判員や運営に協力いただける役員依頼の関係で、休日開催をお願いしたい。

## 柔 道 の 部

- 1 期日 令和7年6月28日(土)
- 2 会場 トッケイセキュリティー平塚市総合体育館 第一武道場
- 3 参加校 大野中学校、金目中学校、平塚柔道協会、龍城ヶ丘柔道会、中西道場
- 4 反省・感想  
昨年度に引き続きクラブチームの参加により大会参加チームが増え、大会自体に盛り上がりが見られた。  
エアコンが入る会場であったこともあり、会場内の温度を下げることができたが、熱中症になってしまった生徒がいた。しかし、重症化することなく試合を見学し保護者と帰宅することができた。
- 5 運営面  
大会の運営で掲示や時計などの試合場係は生徒が行った。審判の面では今年度も東海大学の学生審判を依頼することができ、顧問の先生方や地域クラブ活動の指導者の方のご協力によりスムーズな運営ができた。
- 6 競技面  
今年度においても高いレベルでの試合が行われ、男女子団体戦で平塚柔道協会が県大会で3位になり、男子団体では準優勝し関東大会に出場した。また、個人戦での活躍もみられ、関東大会・全国大会に出場した。その中でも女子個人戦が関東大会3位、全国大会でベスト16に入る活躍ができた。
- 7 参加生徒の態度  
どの選手もよく試合に集中し真剣に望み、中学生らしい試合が出来た。  
準備や後片づけなど積極的に手伝い、仲間を応援する態度についても節度をもって行うことができた。又、ゴミなどもなく、持ち帰りが徹底していた。
- 8 来年度への要望  
会場は熱中症の心配もあるので総合体育館の第一武道場を使用させていただきたい。  
審判の面では今年度は学生審判を依頼することができればお願いしたい。  
審判ができる顧問が一人しかおらず、このままでは運営時に学生審判への少年規定の講習をする人がいなくなることが懸念される。学生や協会の審判員はいても一般と少年規定のルールの違いや、目まぐるしく変わる柔道のルールの徹底することができなくなってしまっている。今後顧問の異動により審判ができる顧問がいなくなってしまうと、学生審判や協会の審判員をお願いしたとしても大会を運営することが困難な状態である。

## 剣道の部

1 期日 令和7年7月12日(土)

2 会場 トッケイセキュリティ平塚総合体育館 第2武道場

3 参加数 団体 男子5校 女子5校  
個人 男子34名(7校・1クラブ) 女子32名(5校)

### 4 反省・感想

このあの中ブロック大会では、団体では男子が浜岳・中原、女子は金旭・中原が県大会出場を果たした。また、男子個人では4名、女子個人でも2名が県大会に出場を果たした。さらに、県大会では、男子団体戦において浜岳が活躍し、関東大会への出場を果たした。

男子は剣道経験のある選手が上位を占めた。女子も剣道経験者がいる中、中学から剣道を初めた生徒も入賞を果たしていた。市全体を見ると、小学校からの経験者が力を見せている。だが、男女ともに部員数はかなり少なく、辛うじてチームを組んでいる学校が多い。市全体で切磋琢磨し合い、力の底上げを考えていかなければならないと思う。

### 5 運営面

トッケイセキュリティ平塚総合体育館の第2武道場での開催で、空調が効いた中、大きな事故もなく、無事に終えられたのは良かった。

地域クラブ活動は、金田剣友会から1名、今大会の個人戦に参加した。参加した生徒はよい刺激を受けたようであった。

今年度も東海大学に審判を依頼し、10名の学生を派遣していただいたが、顧問の先生で審判ができる先生は非常に少ないので増員したい。来年度も剣道連盟や学生に審判依頼をしていくことで、審判員の人数確保を行っていききたい。

### 6 技術面

基本の練習は、どの学校もしっかりと行えている。相手と正面から気力で打ち合うような試合は、上位の試合では見る事ができた。初心者で始めた生徒たちにも広めていけるようにしていきたい。剣道の経験のない、あるいは少ない顧問の先生が指導しやすいように普段から学校同士の練習試合などの交流を増やししながら、練習方法などの共有を図っていききたい。

### 7 参加生徒の態度

どの生徒も礼儀正しく試合に臨むことができた。また、準備や片づけを積極的に手伝う姿が見られた。

### 8 来年度への要望

専門性の高い競技であり、審判の確保が難しいので、来年度においても学生の審判のご協力をお願いしたい。

## バドミントンの部

- 1 期 日 令和7年 6月29日(日) 男女団体戦・女子予選会  
令和7年 7月12日(土) 男女個人戦
- 2 会 場 令和7年 6月29日(日) ひらつかサン・ライフアリーナ  
令和7年 7月12日(土) トッケイセキュリティ平塚総合体育館

### 3 参加数(チーム)

男子団体：4チーム(旭陵中・金旭中・横内中・平塚中等)  
女子団体：10チーム(旭陵中・金旭中・横内中・平塚中等・江陽中・浜岳中・大住中・山城中・金目中・神田中)  
男子個人：シングルス 18名 ダブルス 14組 計46名  
女子個人：シングルス 40名 ダブルス 37組 計114名

### 4 反省・感想

真夏の炎天下の中、運営の先生方をはじめ進行がスムーズに進むよう率先して動いてくれた選手達のおかげで、時間に余裕をもって大会を終えることができた。また、保護者や応援生徒の観戦マナーもよかった。

### 5 運営面

団体戦は『ひらつかサン・ライフアリーナ』での開催、個人戦は『トッケイセキュリティ平塚総合体育館』となった。団体戦は時間に余裕のある運営ができたが、個人戦は、時間がかかりかかった。来年度に向けて、来年度は個人戦を『ひらつかサン・ライフアリーナ』、団体戦・個人予選を『トッケイセキュリティ平塚総合体育館』で行われるようにしたい。また、熱中症による体調不良者への対応や応援マナーの呼びかけ等にも気を遣い運営することができた。

### 6 競技面

中ブロック大会では、女子団体で旭陵中学校と浜岳中学校、女子個人ではシングルスが浜岳中生徒1名、大住中1ペア、男子個人ではシングルスが金旭中生徒1名、県大会出場を果たした。

市全体を見ると、中学校から競技を始めた選手が力をつけ上位入賞しているケースは少ない。また上位と下位のチーム差が大きいと感じる。さらに中ブロック大会からは地域クラブチームも参入することでよりレベルの高さが見られてきている。レベル差を解消するために、練習試合や講習会等で交流を増やし、市全体で選手同士の切磋琢磨し合い、技術力の底上げを考えていきたい。

競技の最中に、選手から主審に対して質問をすることができるが、選手が線審に対してイン・アウトを主張したり、個人戦で顧問やコーチが主審に質問したりすることがみられた。今後も正しい競技ルールを確認できるようにしていきたい。

### 7 参加生徒の態度

バドミントン部に所属している生徒や保護者の応援マナーについて各学校や開会式等で呼びかけたこともあり、おおむね良かった。ただし、バドミントン部に所属していない生徒のスマートフォンの使用やインプレー中の応援、フラッシュを使った写真撮影等があった。今後も、応援マナーについて呼びかけていきたい。

### 8 来年度への要望

バドミントンの競技特性上、締め切ってプレーをするため熱中症の危険性がある。また、個人戦、団体戦共に、ひらつかサン・ライフアリーナを、来年度以降も希望します。

## 水泳競技の部

- 1 期 日 2025年8月2日（土）
- 2 会 場 トッケイセキュリティ平塚総合体育館温水プール
- 3 参加チーム 2校（30人：延べ）

### 4 反省・感想

中ブロックに加え、県央ブロック大会との合同開催として4年経過した。全体としての参加者増加に対応するため、昨年度と同様に一人1種目という制限を付けて開催した。今年度も水泳部のない学校からの参加者がいなかったため、市内大会としてはとても寂しい状況だった。顧問数も2校で3名しかいないので、もはや単独での市内大会開催は無理である。そこで、1校でも多くの学校が市内大会に参加できるように、各学校のご配慮をお願いしたい。また、出場種目の規定については、しばらくは「一人1種目」のまま実施することにした。

### 5 運営面

今年度も中ブロック、県央ブロックとの合同大会としていただいたことによって会場にいる生徒数も大幅に増加した。また、熱中症対策として2階の観客席を生徒席として使用し、「無観客」として開催した。今後も参加生徒の健康面を考慮し、感染症の流行にかかわらず「無観客」とせざるを得ないと思う。一方、競技役員については、県央ブロックに競技役員資格を有する先生方が多く、県大会でも重要な部署を担当している先生がいるので、とてもスムーズに大会を運営することができた。中ブロックの参加校も減少しており、県央ブロックとの合同開催にはとても大きなメリットがあるので、来年度以降もこの形での開催を継続していただきたい。

### 6 競技面

「選手で満員のプール」での開催は市内大会、中ブロック大会どまりの生徒にとってはとても貴重な経験となったと思う。また、選手による体力、技術の格差は否定できないが、各自が自己のベスト記録を出そうと頑張っているようなので全体としてよい雰囲気の中で競技を進めることができた。また、3つの大会と同時開催となったことで、記録的には市内大会止まりの生徒にとってよい刺激となったようだ。

### 7 参加生徒の態度

選手は「設備が整った屋内プールで試合ができるありがたさ」を痛感したと思う。平塚市の参加者は注意事項を守って、整然と自席に座って観戦することができた。また、準備片付けに関しても、他校の生徒や競技役員の先生方とも協力してきちんと行うことができた。

### 8 来年度への要望

平塚中等教育学校が本大会をもって活動休止となってしまう、来年度からは参加校は江陽だけという状況になる。すると、競技役員も専門部長を含め3人になるので、「市内大会の有無」が検討事項になるのかもしれない。今後の水泳専門部のあり方を専門部長の後継問題も含め中体連として真剣に検討していただきたい。

県央ブロックとの合同開催になったことで「競技役員の確保」という最大の課題は解決することができた。来年度以降も運営・効率・設備面を考え、新人戦も含めて来年度も総合体育館のプールで、中、県央ブロック（厚木愛甲地区）との合同開催という形でお願いしたい。また、生徒が出場はしなくても役員を引き受けてくれる先生がいる場合にはその先生が参加できるように中体連のご配慮をお願いしたい。さらに、全中予選会、県総体に参加する場合には水泳部の有無にかかわらず大会ごとに競技役員を最低1名派遣していただきたい。最後に、スイミングが全国大会の予選会に参加できるようになり、江陽中も水泳部員が減少しているようなので、他中での水泳部の設置や部活動を理由とし

た学区外通学の特例措置の再検討などについて中体連、教育委員会でも真剣に対応して欲しい。また、経験のある先生方の役員としての参加についてもご配慮をお願いしたい。

## 陸上競技の部

1 期 日 令和7年8月23日（土）市総体

2 会 場 レモンガススタジアム平塚

3 参加校 15校

### 4 反省・感想

平塚市陸上競技協会共催のもと、公認大会として実施することができた。暑い中での大会であったが、給水対応、スタート付近に氷の桶を設置、クーリングスポット対応など熱中症対策を行い、大きな事故なく実施することができた。

### 5 運営面

開閉会式は一部簡略化して実施した。今回の運営を参考に次年度以降も実施したい。  
冷房が使える更衣室をうまく使い、熱中症対策をしながら運営した。  
会場の準備、片付けに生徒の協力を得た。

### 6 競技面

全国大会に出場した土沢中学校の生徒が、女子100mHにて大会新記録を更新した。

### 7 参加生徒の態度

大会の競技規則を守り、真剣に競技に取り組むことができた。  
スマートフォンを扱う生徒がおり、生徒への指導が必要な場面があった。

### 8 その他

特になし

### 9 来年度の要望

平塚陸上競技協会の協力、およびレモンガススタジアム平塚にて8月末の土日での開催をお願いしたい。

## 駅伝競走の部

1 期 日 令和7年10月11日（土）

2 会 場 レモンガススタジアム平塚

3 参加校 男子9校 オープン1校 （中原B）1チーム  
女子9校 オープン2校 （春日野B・中原B）  
合同1チーム（神明・浜岳・金目・土沢）

### 4 反省・感想

伊勢原市との合同開催を行った。役員の協力など連携をはかって実施することができた。平塚市陸上競技協会の方々の多大なる力添えのおかげで滞りなく実施することができた。

### 5 運営面

今年度から新コースで行い、競技場内のコーン設置、コースの動線が変わったこともあり、戸惑う選手が複数いた。雨天のため生徒の安全面を考慮して、テントを予定より多く出し、運営した。

女子1区の選手が走行中倒れるアクシデントがあり緊急搬送した。近くにいた走路員が素早く対応して、生徒はその後回復することができた。

### 6 競技面

男子1位土沢中学校、2位中原中学校、女子1位土沢中学校、2位春日野中学校、以上の4チームが県大会に出場。

### 7 参加生徒の態度

大会の競技規則を守り、真剣に競技に取り組むことができた。スタンド内、園内でスマートフォンを扱う生徒、私服で応援する生徒がいたので、各校注意するよう喚起した。

### 8 その他

特になし

### 9 来年度の要望

平塚市陸上競技協会の協力、伊勢原市との合同開催、平塚総合公園の園路の利用をお願いしたい。

令和7年度平塚市中学校総合体育大会 参加延人数

学校名		江陽	太洋	春日野	浜岳	大野	神田	土沢	金旭	中原	大住	山城	神明	金目	横内	旭陵	平塚中等	平塚ろう	合計
種目別																			
バスケットボール	男		33	90	162	102	28		80	76	128	60	76	54			32		921
	女		36	33	82	36	17		80	64		70	108		12		28		566
バレーボール	男		10					7	19		8								44
	女	38	30	58	28	32		30	27	38	18		53	70					422
サッカー	男	93	57	45	45	56	44		90	87	57	68	42	83	17	34	18		836
	女						6					3	2			2			13
ソフトボール	女			16		12							17						45
ソフトテニス	男	90	7		80		60	20			22	34							313
	女	70	40		60	22	69	24		74	34	22		32	36	36			519
卓球	男	38				20	28		20			15	64	52		22	16		275
	女	22					2						38	16		36	7		121
軟式野球	男	23	22	20	48	46		2	16	17		13	28			18			253
	女	7			2	8		4	1	3			4			4			33
新体操	女		10																10
柔道	男					29													29
	女					2								3					5
剣道	男				10	1			8	7	4				1		5		36
	女				8	2			6	7	2						6		31
バドミントン	男								80						33	52	60		225
	女	80			102		58		80		64	80		82	12	30	38		626
水泳競技	男	11															1		12
	女	17															2		19
陸上競技	男	19	10	19	34	27	12	21	13	35		18	14	1	4	10	10		247
	女	9	12	11	18	22	5	23	14	12		16	10	2	2	6	7		169
駅伝競走	男	10		10	14	21	15	21	8	13			6				6		124
	女	5		12	14	18	6	23	5	10			5	1			5		104
合計	男	284	139	184	393	302	187	71	334	235	219	208	230	190	55	136	148		3315
	女	248	128	130	314	154	163	104	213	208	118	191	237	206	62	114	93		2683
計		532	267	314	707	456	350	175	547	443	337	399	467	396	117	250	241		5998

令和7年度神奈川県中学校総合体育大会中ブロック大会 参加延人数

学校名		江陽	太洋	春日野	浜岳	大野	神田	土沢	金旭	中原	大住	山城	神明	金目	横内	旭陵	平塚中等	平塚ろう	合計
種目別																			
バスケットボール	男				41	34			50	76	64	20							285
	女		24	26		9			50			22							131
バレーボール	男		5					7	19		10								41
	女	38	15	29	14	16		15	27	19	18		28	35					254
サッカー	男	28	19	15	43				60	58	19	19				17	18		296
	女											1				1			2
ソフトボール	女					12						15	17						44
ソフトテニス	男	135	2		56		40	20			8	10							271
	女	55	15		73	22	53	24		37	16	33		32	36	17			413
卓球	男	38				9	12		9			2	30			6	16		122
	女	22											50	6		18	7		103
軟式野球	男		36		72	21		1					14			9			153
	女				3	4		2					2			2			13
新体操	女		10																10
柔道	男					58													58
	女					4								3					7
剣道	男				7				5	7	4						5		28
	女				7				6	7	2						6		28
バドミントン	男								40						15	26	30		111
	女	40			102		50		40		64				6	15	19		336
水泳競技	男	11															1		12
	女	17															2		19
合計	男	212	62	15	219	122	52	28	183	141	105	51	44		15	58	70		1377
	女	172	64	55	199	67	103	41	123	63	100	71	97	76	42	53	34		1360
計		384	126	70	418	189	155	69	306	204	205	122	141	76	57	111	104		2737

令和7年度神奈川県中学校総合体育大会 参加延人数

学校名		江陽	太洋	春日野	浜岳	大野	神田	土沢	金旭	中原	大住	山城	神明	金目	横内	旭陵	平塚中等	平塚ろう	合計	
種目別																				
バスケットボール	男								38										38	
	女																			
バレーボール	男																		57	
	女	57																		
サッカー	男																			
	女																			
ソフトボール	女											15	17						32	
ソフトテニス	男	18																	18	
	女					11					3								14	
卓球	男						2										6		8	
	女												14				2		16	
軟式野球	男				24														24	
	女				1														1	
新体操	女		10																10	
柔道	男					30													30	
	女					4													4	
剣道	男				7				6	14							5		32	
	女				1				12	14							6		33	
バドミントン	男								2										2	
	女				4						15								19	
水泳競技	男	16															1		17	
	女	22															2		24	
陸上競技	男	2	5	3	6	1	5	21	1	7							1		52	
	女	3	5	1	5	10	3	23		3		3		1		1			58	
駅伝競走	男					2		19		8									29	
	女			10		10		18		2									40	
合計	男	36	5	3	37	33	7	40	9	67							13		250	
	女	82	15	11	11	35	3	41	12	19	18	18	31	1		1	10		308	
	計	118	20	14	48	68	10	81	21	86	18	18	31	1		1	23		558	

令和7年度平塚市中学校体育大会新人戦 参加延人数

学校名		江陽	太洋	春日野	浜岳	大野	神田	土沢	金旭	中原	大住	山城	神明	金目	横内	旭陵	平塚中等	平塚ろう	合計	
種目別																				
バスケットボール	男		5	16	23	27	20		20	9	23	7	27	12			11		200	
	女		10	9	16	7	11		50	5		40	15		8		8		179	
バレーボール	男		5					7	15		8								35	
	女	15	14	18	9	22		16	30	15	4		19	27					189	
サッカー	男	19	13	4	31	21	14		14	16	18	15	15	29	10	16	9		244	
	女						1												1	
ソフトボール	女			10		10						10	11						41	
ソフトテニス	男	75			30		26	4			24	9							168	
	女	30	20		88	15	16	6		62	25	6		17	20	22			327	
卓球	男	15				8	10		6			6	22	27		7	9		110	
	女	6					2						7	5		8	2		30	
軟式野球	男	15	6	13	14	12			12	12		11	8	19		5			127	
	女	3				1		2	1	2			2			2			13	
新体操	女		7																7	
柔道	男					22													22	
	女													3					3	
剣道	男				6				3	10	2						3		24	
	女				7	1			4	3	2						3		20	
バドミントン	男								30						12	16	21		79	
	女	29			34		13		30		18	30		29	6	10	13		212	
水泳競技	男	3																	3	
	女	8																	8	
陸上競技	男	12	4	14	25	17	5	11	15	13		15		1	3		7		142	
	女	9	9	11	13	17	3	15	14	3		15		2			4		115	
合計	男	139	33	47	129	107	75	22	115	60	75	63	72	88	25	44	60		1154	
	女	100	60	48	167	73	46	39	129	90	49	101	54	83	34	42	30		1145	
	計	239	93	95	296	180	121	61	244	150	124	164	126	171	59	86	90		2299	

## 優良公民館表彰の受賞について

平塚市立大野公民館（平塚市東真土 2-1-2-1）が、このほど文部科学省所管の第 78 回優良公民館表彰を受賞しました。本市の優良公民館表彰受賞は 14 例目で、9 年連続となります。

### 特色ある事業

- 『地域で作る！七夕短冊、飾りつけ！』

七夕飾り製作を経て団体や地域住民が一体になることの楽しさの再発見することを目的としています。七夕飾りコンクール地区別の部で 2 年連続で一等を受賞しています。

- 『ありがとうの気持ちを伝える！真土のガーベラ&メッセージカードをプレゼントしてみよう』

ガーベラを地域で生産していることを周知し、地域の特徴を知り愛着を持つきっかけに繋がります。花とメッセージカードを合わせて配布することで、家族や友人間でのコミュニケーションを生むことも狙いにしています。

### 優良公民館表彰

文部科学省は全国の公民館のうち、特に事業内容・方法等に工夫を凝らし、地域住民の学習活動に大きく貢献している公民館を「優良公民館」として表彰しています。

優良公民館表彰は昭和 23 年度に創設され、都道府県教育委員会から推薦のあった被表彰候補公民館について、文部科学大臣が被表彰公民館を決定。令和 7 年度は全国で 60 館が選ばれ、2 月 6 日に文部科学省第 1 講堂で表彰式が行われます。

### 優良公民館表彰受賞歴

令和 7 年度 大野公民館	平成 30 年度 須賀公民館
令和 6 年度 富士見公民館（優秀館）・吉沢公民館	平成 29 年度 土屋公民館
令和 5 年度 なでしこ公民館（優秀館）	平成 19 年度 大原公民館
令和 4 年度 八幡公民館	平成 18 年度 金目公民館
令和 3 年度 横内公民館	平成 8 年度 中央公民館
令和 2 年度 松原公民館	昭和 47 年度 崇善公民館
令和元年度 旭南公民館	

# 第72回 平塚市市内駅伝競走大会 地区対抗の部 記録結果

2026年1月11日(日)

主催：平塚市市内駅伝競走大会実行委員会・平塚市教育委員会  
 主管：平塚市陸上競技協会・平塚市スポーツ推進委員連絡協議会  
 後援：平塚市体育振興連絡協議会・平塚市スポーツ協会・西相地区高等学校体育連盟  
 平塚市中学校体育連盟・毎日新聞社横浜支局・平塚商工会議所  
 協力：平塚市交通安全協会・(公財)平塚市まちづくり財団  
 平塚市陸上競技協会OBなでしこ会・株式会社湘南平塚コミュニティ放送

スタート時間：午前9時00分  
 気象状況：曇  
 審判長：福岡 修  
 記録主任：小原 大祐

順位	総合時間	No	チーム名	女子区(2.2km) スタジアム→スタジアム	第1区(6.1km) スタジアム→大住中前	第2区(3.5km) 大住中前→大住中前	第3区(5.0km) 大住中前→みずほ小前	第4区(6.6km) みずほ小前→吉沢小前	第5区(4.8km) 吉沢小前→山城中校庭	備考
1	1:35:52	2	港	佐草 彩巴 <1> 8:03 (1) 8:03	相原 蓮 <1> 27:10 (3) 19:07	高田 皓介 <1> 39:35 (6) 12:25	藤原 岳久 <1> 56:33 (2) 16:58	川口 澄海 <1> 1:19:04 (4) 22:31	佐伯 力 <1> 1:35:52 (4) 16:48	前回3位 (+2)
2	1:36:00	19	四之宮A	久野 純麗 <4> 8:45 (4) 8:45	久野 正悟 <3> 28:26 (6) 19:41	渡邊 快星 <2> 40:13 (3) 11:47	西迫 翔太郎 <3> 58:12 (5) 17:59	添田 雅人 <2> 1:21:09 (5) 22:57	今門 飛勇 <2> 1:36:00 (1) 14:51	前回5位 (+3)
3	1:39:49	5	富士見	東海林よめ菜 <7> 9:08 (7) 9:08	和田 恵祐 <4> 28:27 (4) 19:19	齋藤 祐実 <4> 40:54 (7) 12:27	佐藤 一貴 <4> 59:48 (8) 18:54	岩佐 快斗 <4> 1:22:09 (3) 22:21	久保田 賢人 <3> 1:39:49 (7) 17:40	前回4位 (+1)
4	1:40:28	21	松が丘	古橋 春那 <13> 10:01 (13) 10:01	村松 大海 <5> 28:56 (2) 18:55	松井 歩希 <5> 41:34 (8) 12:38	平尾 漣 <2> 57:54 (1) 16:20	松林 大貴 <3> 1:22:07 (6) 24:13	田代 裕 <4> 1:40:28 (12) 18:21	前回10位 (+6)
5	1:40:57	18	真土	市川 彩花 <11> 9:43 (11) 9:43	市川 湊大 <12> 31:03 (10) 21:20	白井 絢瑛 <13> 44:17 (11) 13:14	泉 翔太 <5> 1:01:52 (3) 17:35	伊澤 聡 <5> 1:23:51 (1) 21:59	山口 力也 <5> 1:40:57 (5) 17:06	前回1位 (-4)
6	1:44:36	23	旭北	和田 佳代子 <8> 9:12 (8) 9:12	葛島 怜 <13> 31:21 (16) 22:09	金子 瑠愛夢 <14> 44:55 (12) 13:34	諸星 悠斗 <7> 1:02:52 (4) 17:57	井上 慎一郎 <9> 1:28:37 (10) 25:45	松田 寛大郎 <6> 1:44:36 (2) 15:59	前回7位 (+1)
7	1:44:59	9	中原	浅沼 優梨亜 <3> 8:22 (3) 8:22	清水 皓陽 <6> 29:01 (7) 20:39	鈴木 義人 <3> 40:43 (2) 11:42	井上 莉穂 <9> 1:03:00 (16) 22:17	野上 正彦 <8> 1:27:42 (8) 24:42	川口 純輝 <7> 1:44:59 (6) 17:17	
8	1:45:06	15	南原	府川 奏 <15> 10:49 (15) 10:49	青野 聖輝 <15> 32:39 (14) 21:50	千葉 勇斗 <11> 44:13 (1) 11:34	熊澤 蓮 <13> 1:04:39 (10) 20:26	脇 陽真 <6> 1:26:58 (2) 22:19	熊澤 啓 <8> 1:45:06 (10) 18:08	前回2位 (-6)
9	1:45:25	25	四之宮B	町田 まひる <9> 9:22 (9) 9:22	二木 雄也 <10> 30:21 (9) 20:59	相原 凜太郎 <8> 42:37 (4) 12:16	大津 剛正 <10> 1:03:08 (11) 20:31	浦川 春日希 <7> 1:27:38 (7) 24:30	鈴木 誠朗 <9> 1:45:25 (8) 17:47	
10	1:47:41	8	金目	関根 明日香 <17> 11:35 (17) 11:35	本間 空 <8> 30:07 (1) 18:32	中野 諒太 <6> 42:27 (5) 12:20	渡邊 拓也 <12> 1:03:47 (14) 21:20	澤 健三郎 <10> 1:29:34 (11) 25:47	三田 雄一 <10> 1:47:41 (9) 18:07	前回14位 (+4)
11	1:49:00	3	花水	田中 桜子 <6> 8:49 (6) 8:49	藤川 蓮丸 <2> 28:25 (5) 19:36	伊藤 亮治 <10> 43:48 (16) 15:23	高峰 朝巳 <6> 1:02:30 (7) 18:42	出水 麗 <11> 1:30:26 (14) 27:56	熊谷 有吾 <11> 1:49:00 (13) 18:34	
12	1:50:54	6	神田	折田 優愛 <10> 9:25 (10) 9:25	大塚 心 <14> 32:37 (17) 23:12	市川 凜 <15> 47:37 (15) 15:00	溝口 翔太 <14> 1:06:14 (6) 18:37	宮原 遥大 <13> 1:31:40 (9) 25:26	大塚 敬三 <12> 1:50:54 (15) 19:14	前回9位 (-3)
13	* 1:50:59	13	土屋	養島 陽和 <2> 8:08 (2) 8:08	矢後 大輔 <7> 29:44 (13) 21:36	岩本 貴幸 <7> 42:30 (9) 12:46	原 翼 <11> 1:03:45 (13) 21:15	小幡 佳代子 <14> 1:32:08 (16) 28:23	鈴木 拓海 <13> 1:50:59 (14) 18:51	前回12位 (-1)
14	1:52:20	1	崇善	寺町 咲希 <5> 8:46 (5) 8:46	小林 平良 <9> 30:14 (12) 21:28	古木 健太 <9> 43:10 (10) 12:56	堀 真人 <8> 1:03:00 (9) 19:50	小林 翔 <12> 1:31:00 (15) 28:00	加藤 勝則 <14> 1:52:20 (17) 21:20	前回11位 (-3)
15	* 1:54:42	10	豊田	渋谷 咲 <12> 9:50 (12) 9:50	佐藤 裕貴 <11> 30:34 (8) 20:44	藤川 樹希 <12> 44:16 (13) 13:42	豊島 崇文 <15> 1:07:02 (17) 22:46	高梨 宏太 <15> 1:34:34 (13) 27:32	高梨 太暉 <15> 1:54:42 (16) 20:08	前回8位 (-7)
16	* 1:56:37	12	城島	小早川 真衣 <18> 11:58 (18) 11:58	中村 寛隆 <17> 33:57 (15) 21:59	江島 恵雲 <16> 48:20 (14) 14:23	早川 正芳 <16> 1:10:34 (15) 22:14	渡辺 悟史 <17> 1:40:17 (17) 29:43	山口 穰 <16> 1:56:37 (3) 16:20	前回16位 (0)
17	* 1:56:56	7	岡崎	吉田 寿子 <16> 11:20 (16) 11:20	遠藤 悠一 <16> 32:43 (11) 21:23	水上 隆行 <17> 51:20 (18) 18:37	土原 和歩 <17> 1:12:17 (12) 20:57	大島 修 <16> 1:38:44 (12) 26:27	市川 豊 <17> 1:56:56 (11) 18:12	前回15位 (-2)
18	* 2:23:59	16	横内	山邊 愛来 <14> 10:02 (14) 10:02	松田 魁士 <18> 36:57 (18) 26:55	トントラフキト <18> 55:01 (17) 18:04	鈴木 禎哉 <18> 1:21:41 (18) 26:40	渡辺 航平 <18> 1:56:33 (18) 34:52	玉木 逸聖 <18> 2:23:59 (18) 27:26	
オープン	1:43:54	70	伊豆市	根岸 涼子 [OP] 10:20 [OP] 10:20	勝呂 和也 [OP] 30:40 [OP] 20:20	飯田 陽斗 [OP] 44:36 [OP] 13:56	飯田 聡 [OP] 1:01:44 [OP] 17:08	大村 侑義 [OP] 1:24:18 [OP] 22:34	根岸 尚宗 [OP] 1:43:54 [OP] 19:36	
区間最高記録→				第60/61/71回 7:42 山田菜月(岡崎)	第70回 18:06 中野 蒼心 南 原	第70回 10:59 南 陽平 南 原	第70回 15:23 相原 蓮 港	第71回 20:44 佐上 湘哉 港	第70回 14:50 新田 華寿樹 金目	
<>:通算記録、( ):区間記録 NSR:区間新、ESR:区間外、*:線上スタート										

# 第65回 平塚市市内駅伝競走大会 実業団対抗の部 記録結果

2026年1月11日(日)

主催：平塚市市内駅伝競走大会実行委員会・平塚市教育委員会

主管：平塚市陸上競技協会・平塚市スポーツ推進委員連絡協議会

後援：平塚市体育振興連絡協議会・平塚市スポーツ協会・西相地区高等学校体育連盟  
平塚市中学校体育連盟・毎日新聞社横浜支局・平塚商工会議所

協力：平塚市交通安全協会・(公財)平塚市まちづくり財団

平塚市陸上競技協会OBなでしこ会・株式会社湘南平塚コミュニティ放送

スタート時間：午前9時08分03秒

気象状況：曇

審判長：福岡 修

記録主任：小原 大祐

順位	No	チーム名	総合時間				
			第1区(6.1km) スタジアム→大住中前	第2区(3.5km) 大住中前→大住中前	第3区(5.0km) 大住中前→みずほ小前	第4区(6.6km) みずほ小前→吉沢小前	第5区(4.8km) 吉沢小前→山城中校庭
1	35	平塚市役所A	村本 洋介 <1> 21:31 (1) 21:31	村田 昭人 <1> 34:31 (1) 13:00	石井 清加寿 <1> 53:26 (1) 18:55	原 嘉賢 <1> 1:16:03 (1) NSR 22:37	福岡 光 <1> 1:34:09 (3) 18:06
2	43	平塚消防	吉野 哲矢 <3> 22:21 (3) 22:21	齋藤 翔太 <2> 35:30 (2) 13:09	福澤 彩仁 <2> 54:53 (2) 19:23	高良 泰生 <2> 1:23:28 (5) 28:35	矢部 翔 <2> 1:42:18 (4) 18:50
3	55	平塚市役所B * 1:45:03	杉本 航一郎 <2> 22:18 (2) 22:18	仲川 秀和 <3> 37:06 (3) 14:48	西山 睦彦 <3> 57:56 (3) 20:50	辻原 幸生 <3> 1:27:09 (6) 29:13	細井 尚輝 <3> 1:45:03 (2) 17:54
4	48	田中貴金属工業平塚工場 * 1:47:59	佐々木 健太 <4> 22:49 (4) 22:49	内藤 英範 <4> 37:37 (3) 14:48	平賀 涼 <4> 59:45 (4) 22:08	大澤 友志郎 <4> 1:28:12 (4) 28:27	和田 徳仁 <4> 1:47:59 (5) 19:47
5	33	トノックス * 1:51:14	宇田川ゆまる <6> 24:41 (6) 24:41	ロ・ヴアン・グイン <6> 41:56 (7) 17:15	ハー・チュン・ヒウ <6> 1:05:52 (6) 23:56	広瀬 隆 <6> 1:34:03 (2) 28:11	須藤 智也 <5> 1:51:14 (1) 17:11
6	36	田中貴金属工業湘南工場 * 1:54:40	和田 俊祐 <7> 25:21 (7) 25:21	佐々木 文人 <7> 42:14 (6) 16:53	豆田 嵩翔 <5> 1:04:38 (5) 22:24	岩野 卓司 <5> 1:32:59 (3) 28:21	酒井 誠 <6> 1:54:40 (6) 21:41
7	40	KELK * 1:58:25	高橋 宏行 <5> 24:39 (5) 24:39	渋井 綾人 <5> 40:28 (5) 15:49	成田 将吾 <7> 1:06:03 (7) 25:35	高橋 光一 <7> 1:36:12 (7) 30:09	一 皓文 <7> 1:58:25 (7) 22:13
区間最高記録→ <>:通算記録、( ):区間記録 NSR:区間新、ESR:区間外、*:繰り上げスタート			第55回 19:56 佐藤 裕貴 平塚市役所	第64回 12:33 平塚警察署	第63回 18:02 福岡 光 平塚市役所	第63回 22:46 原 嘉賢 平塚市役所	第63回 16:38 村田 昭人 平塚市役所



平塚市立学校教職員の  
業務量管理・健康確保措置実施計画

令和8年4月

平塚市教育委員会

## 目次

1	計画の趣旨、現状	1
2	目標	2
3	計画の期間	2
4	実施する業務量管理・健康確保措置の内容	2
5	関連する取組、今後のフォローアップについて	8

## I 計画の趣旨、現状

平塚市教育委員会（以下、「市教育委員会」という。）では、教職員が健康で生き生きとやりがいを持って勤務でき、教育の質を高められる環境づくりを進めるために、令和3年4月に「平塚市学校業務改善方針」を策定し、学校と市教育委員会が一体となって学校の業務改善に取り組んできました。

その結果、令和4年度から令和6年度の時間外在校等時間の割合については、次のとおりとなっています。

【月45時間以上の時間外在校等時間の割合 小中学校別（年間平均）】

	小学校	中学校
令和4年度	40.1%	42.1%
令和5年度	34.5%	40.4%
令和6年度	33.1%	36.8%

【月80時間以上の時間外在校等時間の割合 小中学校別（年間平均）】

	小学校	中学校
令和4年度	8.7%	13.5%
令和5年度	6.4%	11.0%
令和6年度	6.0%	10.4%

一定の改善はみられるものの、依然として、月45時間を超える時間外勤務を行っている教員が多い実態があります。

そこで、「平塚市学校業務改善方針」の策定から4年が経過した令和7年4月に、これまでの取組を見直し、改善していくために、「平塚市学校業務改善方針プラン2」として改定し、子どもたちへのより良い教育の実現を目指してきました。

本計画は、令和7年6月に改正された「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」において、教員の働き方改革の推進に向けて、服務監督権者である各教育委員会に「業務量管理・健康確保措置実施計画」の策定が義務付けられたことに伴い、平塚市立学校における働き方改革の実効性を高め、取組をさらに進めるために、策定するものです。

なお、計画の策定にあたっては、国から示された「公立学校の教育職員の業務量の適切な管理その他教育職員の服務を監督する教育委員会が教育職員の健康及び福祉の確保を図るために講ずべき措置に関する指針」に即し、本市の実情を踏まえて、令和7年4月に改定した「平塚市学校業務改善方針プラン2」を見直し、「平塚市立学校教職員の業務量管理・健康確保措置実施計画」として新たに定めるものとします。

## 2 目標

市教育委員会では、「平塚市学校業務改善方針プラン2」と「神奈川の教員の働き方改革に関する指針」における目標をふまえ、次のとおり目標を設定します。

### 1 長時間勤務の是正

時間外在校等時間を縮減します。

時間外在校等時間	第一段階	月 80 時間超の割合	0%
	第二段階	月 45 時間超の割合	0%
		年 360 時間超の割合	0%

※第一段階は、令和9年度までの達成をめざします

### 2 ウェルビーイングの向上

教職員がいきいきと活躍できる環境を整えます。

働きやすい職場と感じている教職員の割合	80%以上
仕事にやりがいがあると感じている教職員の割合	80%以上

## 3 計画の期間

令和8年度から令和11年度までの4年とします。

## 4 実施する業務量管理・健康確保措置の内容

本計画では、国が示す「学校と教師の業務の3分類」を踏まえ、本市の実情に応じて、優先的に見直す業務や適正化を図るべき業務を整理しています。

### (1) 「学校と教師の業務の3分類」を踏まえた業務の見直し

#### ア 学校以外が担うべき業務

##### (ア) 登下校時の通学路における日常的な見守り活動等

- 登下校の見守り活動を実施している団体に対して、事業費の一部を助成し、各団体の活動を支援します。
- 登下校の見守り活動を実施している個人に対する損害保険を整備し、地域ボランティアの活動を推進します。

##### (イ) 放課後から夜間等における校外の見回り、児童生徒が補導された時の対応

- 放課後から夜間等における校外の見回りについては、地域で子どもの見守りを行っている団体に協力を依頼します。児童生徒が補導された時の対応については、学校による対応は原則行わないこととします。

##### (ウ) 学校徴収金の徴収・管理（公会計化等）

- 給食費の公会計化を維持し、学校の集金業務の負担を軽減します。
- 学校徴収金の今後の取り扱いについて研究します。

##### (エ) 地域学校協働活動の関係者間の連絡調整等

- 平塚市地域教育力ネットワーク協議会については、関係者間の連絡調整は同協議会が中心となり進めます。

##### (オ) 保護者等からの過剰な苦情や不当な要求等の学校では対応が困難な事案への対応

- スクールロイヤーに、初期対応の段階から相談し、予防的に関わってもらうことで、速やかな問題解決を図るよう、学校安全法務強化事業を実施します。

## イ 教師以外が積極的に参画すべき業務

### (ア) 調査・統計等への回答

- 市教育委員会から学校に対して行う各種調査、依頼については、調査項目や依頼事項の精選・削減に努めるとともに、提出様式の簡略化を図ります。
- 各種会議、研修等で重複した内容がある場合は整理、精選を行います。

### (イ) 学校の広報資料・ウェブサイトの作成・管理

- 学校のウェブサイトについて、学校には掲載情報の提供を依頼し、作成・管理は市教育委員会が一元的に実施します。

### (ウ) ICT機器・ネットワーク設備の日常的な保守・管理

- ICT機器及びネットワーク設備の保守・管理については、委託事業者による日常的な支援体制を維持します。
- 児童生徒アカウントの管理の負担軽減を図るため、アカウントの作成・修正等については、市教育委員会が実施します。
- 児童生徒の出欠席の連絡や学校からの一斉連絡等に学校連絡・情報共有システムを活用し、教職員の事務負担を軽減します。

### (エ) 学校プールや体育館等の施設・設備の管理

- 民間プール施設における水泳授業の実施や民間プール施設のインストラクターの小学校水泳授業への派遣を推進して、教職員の水泳指導の準備等の負担を軽減します。
- 学校体育施設開放の管理については、利用システムの運用や電子錠の導入等、先進市の事例を参考に、負担軽減の在り方を研究します。

### (オ) 校舎の開錠・施錠

- 校舎の機械警備を継続します。

### (カ) 校内清掃

- 屋上などの危険な場所の清掃は教職員で行わず、業務委託を実施します。
- 日常的なトイレ清掃と夏季の水泳授業前に行うプール清掃の業務委託を実施します。

#### (キ) 部活動

- 休養日は、原則として週当たり2日以上（平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日は少なくとも1日）とします。活動時間は、課業期間中の平日では2時間程度、休業日は3時間程度とします。
- 指導体制の充実及び、担当する教職員への支援を図るため地域指導者・特別地域指導者・部活動指導員を派遣、配置します。
- 国から示されるガイドライン等を踏まえ、部活動の在り方について、研究、協議していきます。

### ウ 教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務

#### (ア) 授業準備

- 教材等の印刷や授業で使用する物品等の準備、その他の補助的な業務支援のため、スクール・サポート・スタッフを派遣します。
- 校務支援システム上に、授業づくりに関する指導案や研究部会の成果のまとめ等を掲載し、共有化を図ります。
- タブレット端末でオンライン学習ドリルや授業支援サービス等を利用できる環境を維持します。

#### (イ) 学習評価や成績処理

- 中学校においては、学習評価及び成績処理の効率化を図るため、採点支援システムの更なる活用を推進します。
- 令和8年度以降に作成する指導要録については、紙媒体での印刷・押印・保管を行わず、PDFデータとして保存します。
- 情報の入力等の補助的な作業は、スクール・サポート・スタッフの活用を図ります。

#### (ウ) 支援が必要な児童生徒・家庭への対応

- 児童生徒や保護者への継続的な支援を行うために、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを派遣します。
- 日本語指導を支援するため、学校の要請に応じて、日本語指導協力者を派遣します。

## (2) 学校における措置の推進

子どもたちにより良い教育を実現するために、教職員が心身ともに充実して子どもたちと向き合うことができる環境を整えることが重要です。

そのため、児童生徒や学校の実情を踏まえ、教育活動の重点化、業務の統合や精選を行うことや、教職員相互、教職員と保護者等との信頼関係の構築なども含めた学校マネジメントの実現を目指します。

- 年間行事の精選や内容の見直しを行い、教科等との関連性を考え、教科指導に位置付けられるものについては、当該教科等の授業時間に含めます。
- 学校単位で年間計画等を作成する際、既存の計画の整理、統合を検討し、学校事情に応じた計画を策定します。
- 教職員の働き方に関する視点を運営方針等へ盛り込んだ学校運営を推進するとともに、教職員の意識改革を図ります。
- 教職員一人一人が、自らの業務を適正化の観点から見直し、より効果的に行うことができるように改善を図ります。
- 教職員一人一人にとって適正な業務量と質になるような校務分掌とします。
- 管理職は働き方改革の推進に向けて、業務プロセスを最適化し、成果につながる創意工夫や業務改善に取り組めます。
- 学校運営協議会において、学校の働き方改革について周知するとともに、各学校の教育目標の実現のための協議を踏まえ、学校が担っている業務の一部を保護者、地域の方に担っていただくよう連携、協力を依頼します。
- スクール・サポート・スタッフと連携し、教職員の業務軽減を図ります。また、各種支援員と連携し、教育活動の充実や円滑な学校運営を図ります。
- 地域指導者・特別地域指導者・部活動指導員と連携した部活動運営により、資質向上と顧問教員の負担軽減を図ります。
- 教職員が仕事にやりがいを感じるとともに、働きやすい職場環境となるように努めます。

### (3) 教職員の健康及び福祉の確保に関する取組

- 時間外在校等時間の上限として、月 45 時間、年間 360 時間とし、業務量を適正に管理します。
- 必要に応じて、教職員が産業医等による助言・指導又は保健指導を受けられるようにします。
- 教職員を対象として、健康診断、ストレスチェックを実施し、心身の健康の保持増進を図ります。また、ストレスチェック実施後の集団分析の結果等の活用により職場改善を推進します。
- 心身の健康問題についての電話やメール等を含めた相談体制の充実を図ります。
- 1か月に1日以上の一斉退勤日を設け、教職員の心身の健康と業務量の調整を行っていきます。
- 学校閉庁日を設定し、年次休暇の取得促進を図ります。
- 勤務時間外の電話について、応答専用留守番電話の円滑な運用を図ります。

## 5 関連する取組、今後のフォローアップについて

- 時間外在校等時間にかかる目標の達成状況については、在校等時間把握システムで把握し、その他の目標については、勤務実態調査やストレスチェックの結果から把握します。
- 各学校における働き方改革の取組が進むよう、各学校へ本計画の周知を行うとともに、管理職向けのマネジメント等に関する研修の充実に努めます。
- 教職員を対象とした、勤務実態調査を実施し、勤務実態を把握し分析をするとともに、教職員からの意見を把握し、仕事にやりがいを感じ、働きやすい職場環境づくりを目指します。
- 学校事務職員が校務運営をスムーズに行うことができるように、研修等を通じ、資質・能力、意欲の向上を図ります。また、共同学校事務室を活用します。
- 学校における紙文書の削減や事務処理の簡素化、電子決裁を進めるために、文書管理システムを導入し、関連規程の整理を行います。
- ワークステーションひらつか「夢のタネ」等に事務作業を依頼することで、教職員の業務軽減を推進します。
- 各校で整備する危機管理マニュアルの基本資料となる資料を提供し、災害発生時における各校での安全管理体制の向上を図ります。
- 各校の通学路図をデータ管理し、通学路図の精度向上と各校における修正等にかかる業務負担を軽減します。
- 市教委が夏休みの課題に関する募集要項を一覧にまとめ、インターネット上で閲覧できるようにし、各学校へ周知します。
- 尿検査の検査キットの提出用袋について、氏名等が印字されたものを配付します。
- 学校における働き方改革の取組について、地域・保護者へ周知し理解を図ります。
- 取組を着実に実行するため、毎年度、計画の実施状況を公表するとともに、総合教育会議において報告することとします。

令和8年 4月 発行

平塚市教育委員会

議案第27号

平塚市立小学校及び中学校適正規模等基本方針の策定について

平塚市立小学校及び中学校適正規模等基本方針について、別紙のとおり策定するものとする。

令和8年1月30日提出

平塚市教育委員会

教育長 吉野 雅 裕

議案第28号

平塚市学校施設の個別施設計画の改訂について

平塚市学校施設の個別施設計画について、別紙のとおり改訂するものとする。

令和8年1月30日提出

平塚市教育委員会

教育長 吉野 雅 裕

議案第29号

平塚市立小学校及び中学校の体育施設の開放に関する規則の一部を改正する規則について

平塚市立小学校及び中学校の体育施設の開放に関する規則の一部を改正する規則について、別紙のとおり定めるものとする。

令和8年1月30日提出

平塚市教育委員会  
教育長 吉野 雅 裕



平塚市立小学校及び中学校の体育施設の開放に関する規則の一部を改正する  
規則（案）

平塚市立小学校及び中学校の体育施設の開放に関する規則（昭和50年教育委員会規則第6号）の一部を次のように改正する。

第5条第1項中「年度」の次に「の翌年度」を加える。

第1号様式及び第4号様式から第6号様式までの規定中「男子 人 女子 人  
合計 人」を削る。

（施行期日）

- 1 この規則は、令和8年4月1日から施行する。ただし、第1号様式及び第4号様式から第6号様式までの改正規定並びに附則第3項及び附則第4項の規定は、公布の日から施行する。

（経過措置）

- 2 この規則の施行の日（以下「施行日」という。）の前日において現にこの規則による改正前の平塚市立小学校及び中学校の体育施設の開放に関する規則（以下「旧規則」という。）の規定により利用登録を受けている者（教育委員会が指定するものに限る。）は、施行日においてこの規則による改正後の平塚市立小学校及び中学校の体育施設の開放に関する規則（以下「新規則」という。）の規定により利用登録の更新を受けたものとみなす。この場合において、当該利用登録の更新を受けたものとみなされる者に係る利用登録の有効期間は、新規則第5条第1項の規定にかかわらず、令和9年3月31日までとする。
- 3 附則第1項ただし書に規定する規定の施行の際現に旧規則の規定により作成されている様式書類は、当分の間、必要な調整をして使用することができる。

（準備行為）

- 4 新規則第5条の規定による利用登録の更新に関する手続は、別に定めるところにより、この規則の施行前においても行うことができる。



平塚市立小学校及び中学校の体育施設の開放に関する規則の一部改正に伴う新旧対照表

——— 改正部分

現 行	改 正 案	改正要旨
<p>(利用登録の有効期間及び登録の更新)</p> <p>第5条 利用登録の有効期間は、登録証を交付した日から交付した日の属する年度の末日までとする。</p> <p>2・3 省略</p>	<p>(利用登録の有効期間及び登録の更新)</p> <p>第5条 利用登録の有効期間は、登録証を交付した日から交付した日の属する年度の<u>翌年度</u>の末日までとする。</p> <p>2・3 省略</p>	<p>学校体育施設に係る利用登録の有効期間の見直しに伴い規定を整備するほか、所要の改正を行う。</p>



改正部分

第1号様式(第4条関係)

学校体育施設開放利用登録申請書

年 月 日

(提出先)

平塚市教育委員会

押 印 欄

登 録 区 分		<input type="checkbox"/> 団体登録 <input type="checkbox"/> 個人登録			
登 録 者	団 体 名 (団体の場合のみ)				
	所 在 地 (住 所)	電話( )			
	代 表 者 氏 名 (氏 名)				
開 放 校 名 (個人の場合のみ)					
利 用 種 目					
会 員 数 (団体の場合のみ)		男子	人	女子	人 合計 人
利 用 責 任 者	住 所	電話( )			
	氏 名				
処 理 欄	決 定 区 分	<input type="checkbox"/> 登録する。 <input type="checkbox"/> 登録しない。			
	登 録 し な い 理 由	.....			
	利 用 条 件				
	受付年月日 ・    ・	決裁年月日 ・    ・	登録年月日 ・    ・	登録証交付 ・    ・	登録番号

※ 太線の枠の中だけ記入してください。



第1号様式(第4条関係)

学校体育施設開放利用登録申請書

年 月 日

(提出先)

平塚市教育委員会

押 印 欄

登 録 区 分		<input type="checkbox"/> 団体登録 <input type="checkbox"/> 個人登録			
登 録 者	団 体 名 (団体の場合のみ)				
	所 在 地 (住 所)	電話( )			
	代 表 者 氏 名 (氏 名)				
開 放 校 名 (個人の場合のみ)					
利 用 種 目					
会 員 数 (団体の場合のみ)					
利 用 責 任 者	住 所	電話( )			
	氏 名				
処 理 欄	決 定 区 分	<input type="checkbox"/> 登録する。 <input type="checkbox"/> 登録しない。			
	登 録 し な い 理 由	.....			
	利 用 条 件				
	受付年月日 ・    ・	決裁年月日 ・    ・	登録年月日 ・    ・	登録証交付 ・    ・	登録番号

※ 太線の枠の中だけ記入してください。







改正部分

第5号様式(第7条関係)

学校体育施設利用申込書

年 月 日

(提出先)

平塚市教育委員会

押 印 欄

登 録 番 号						
団 体 名 (団体の場合のみ)						
所 在 地 (住 所)		電話( )				
代 表 者 氏 名 (氏 名)						
利用開放校名		利用施設 <input type="checkbox"/> 運動場 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 体育室 <input type="checkbox"/> 柔剣道場 <input type="checkbox"/> クラブハウス				
利 用 人 員	男子 人 女子 人 合計 人					
利 用 目 的						
利 用 希 望 日 時	月 日 曜	時 間		活 動 内 容	備 考	
	・ ・	午 前後	: ~午 前後	:		
	・ ・	午 前後	: ~午 前後	:		
	・ ・	午 前後	: ~午 前後	:		
	・ ・	午 前後	: ~午 前後	:		
	・ ・	午 前後	: ~午 前後	:		
	・ ・	午 前後	: ~午 前後	:		
利 用 責 任 者	住 所	電話( )				
	氏 名					
受付年月日 ・ ・		決裁年月日 ・ ・		施行年月日 ・ ・		
		完結年月日 ・ ・		受付番号		

※ 代表者は、登録証を添えて提出すること。



第5号様式(第7条関係)

学校体育施設利用申込書

年 月 日

(提出先)

平塚市教育委員会

押 印 欄

登 録 番 号				
団 体 名 (団体の場合のみ)				
所 在 地 (住 所)		電話( )		
代 表 者 氏 名 (氏 名)				
利用開放校名		利用施設 <input type="checkbox"/> 運動場 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 体育室 <input type="checkbox"/> 柔剣道場 <input type="checkbox"/> クラブハウス		
利 用 人 員				
利 用 目 的				
利 用 希 望 日 時	月 日 曜	時 間	活 動 内 容	備 考
	・ ・	午 前後 : ~午 前後 :		
	・ ・	午 前後 : ~午 前後 :		
	・ ・	午 前後 : ~午 前後 :		
	・ ・	午 前後 : ~午 前後 :		
	・ ・	午 前後 : ~午 前後 :		
	・ ・	午 前後 : ~午 前後 :		
利 用 責 任 者	住 所	電話( )		
	氏 名			
受付年月日 ・ ・	決裁年月日 ・ ・	施行年月日 ・ ・	完結年月日 ・ ・	受付番号

※ 代表者は、登録証を添えて提出すること。



改正部分

第6号様式(第8条関係)

学校体育施設利用承認書

年 月 日

平塚市教育委員会

印

登録番号					
団体名 (団体の場合のみ)					
所在地 (住所)	電話( )				
代表者氏名 (氏名)					
利用開放校名	利用施設 <input type="checkbox"/> 運動場 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 体育室 <input type="checkbox"/> 柔剣道場 <input type="checkbox"/> クラブハウス				
利用人員	男子	人	女子	人 合計 人	
利用目的					
利用希望日時	月 日 曜	時 間		活 動 内 容	備 考
	・ ・	午 前後	: ~午 前後	:	
	・ ・	午 前後	: ~午 前後	:	
	・ ・	午 前後	: ~午 前後	:	
	・ ・	午 前後	: ~午 前後	:	
	・ ・	午 前後	: ~午 前後	:	
	・ ・	午 前後	: ~午 前後	:	
利用責任者	住 所	電話( )			
	氏 名				
				受付番号	



第6号様式(第8条関係)

学校体育施設利用承認書

年 月 日

平塚市教育委員会

印

登録番号					
団体名 (団体の場合のみ)					
所在地 (住所)	電話( )				
代表者氏名 (氏名)					
利用開放校名	利用施設 <input type="checkbox"/> 運動場 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 体育室 <input type="checkbox"/> 柔剣道場 <input type="checkbox"/> クラブハウス				
利用人員					
利用目的					
利用希望日時	月 日 曜	時 間		活 動 内 容	備 考
	・ ・	午 前後	: ~ 午 前後	:	
	・ ・	午 前後	: ~ 午 前後	:	
	・ ・	午 前後	: ~ 午 前後	:	
	・ ・	午 前後	: ~ 午 前後	:	
	・ ・	午 前後	: ~ 午 前後	:	
	・ ・	午 前後	: ~ 午 前後	:	
利用責任者	住 所	電話( )			
	氏 名				
受付番号					